

2011年度

秋田県立近代美術館年報

Akita Museum of Modern Art Annual Report, 2011

目 次	
沿 革	2
美術館の事業紹介	3
2011(平成23)年度事業一覧	5
展示事業	
企画展	
アートで虫むし とびきりコラボ大作戦！	7
光と影のファンタジー 藤城清治の世界展	11
ハイチの素朴な絵画展	16
時代のよそおい展	19
赫い女 紺野五郎素描展	22
コレクション展	26
教育普及事業	
美術館教室・ワークショップ	34
ミュージアム・コンサート	38
美術館講座・美術講演会	40
ボランティア活動	41
ハイビジョンソフト制作	42
出前美術館	43
レオナール・フジタがやってきた展	43
横手商工会議所による応援団宣言	43
ネットワーク推進事業	44
第47回横手地区高校美術展	44
でまえわくわく美術展(特別支援学校文化連盟美術展)	44
セカンドスクールの利用	45
博物館実習	46
全国美術館会議	47
収集事業	
美術品収集	48
図書資料	49
調査・研究業績	50
美術品貸し出し	51
刊行物	52
入館状況	53
組 織	54
建築・設備概要	55
関係法規	56
館内図	58
利用・交通案内	60

沿 革

1988(昭和63)年	11月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本構想策定
1989(平成 1)年	5月	秋田郷土美術館(仮称)建設基本構想策定
	12月	秋田ふるさと村(仮称)建設基本計画策定
1990(平成 2)年		文化課に新美術館建設準備担当設置
	6月	用地取得・造成工事着手
1991(平成 3)年	6月	美術館建設工事着手
1993(平成 5)年	6月	美術館建設工事完成
1994(平成 6)年	4月 20日	開館
1997(平成 9)年	10月 2日	天皇・皇后両陛下下行幸啓
1999(平成11)年	4月	秋田ふるさと村入村料無料化
2001(平成13)年	1月	展示室以外の館内無料化
	9月 26日	入館者数1,000,000人を達成
2007(平成19)年	10月	入館者数1,500,000人を達成
2009(平成21)年	4月	特別展観覧料学生以下無料

美術館の事業

◆ 展 示

企画展

美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を対象に特色あるテーマをもった展覧会を開催します。

コレクション展

当館所蔵作品を年4～6回の展示替えを行いながら、常時公開するものです。

Exhibition

Special Exhibition

Under a unique theme, displays of native and foreign artwork are displayed in cooperation with other museums and organizations.

Permanent Exhibition

A portion of our collection is regularly displayed and each is rotated every few months.

◆ 収 集

近代以降の優れた美術作品を中心に、近・現代美術の思潮をたどるうえで必要な作品や資料を収集します。

- ① 秋田蘭画・初期洋風画作品及び資料
- ② 近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品や資料
- ③ 日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④ 当館の収集作品としてふさわしい内外の美術作品や資料

Purchasing Activities

In order to follow the current trends in modern and presentday thought in fine art, our collection of fine works concentrates mostly on the postmodern era as described below.

- ① The Akita School of Ranga paintings, early westernstyle paintings in Japan, and the materials associated with these works.
- ② The fine art work of modern artists who are closely connected to, or are from Akita Prefecture, and related materials.
- ③ Works which teach us about the current thought in Japanese fine art, and the materials associated with these works.
- ④ Other native and foreign works which are of great substance, and the materials associated with them.

◆ 保存管理

優れた美術作品の散逸・損傷・亡失を防ぎ、後世に伝えるため、調査研究を行い、良好な環境の中で保存します。

Preservation

We have preserved all of the fine works in the best condition possible in order to prevent them from being scattered, damaged or lost.

We wish to continually improve our research and hand down these collections to

future generations.

◆調査研究

本館の各種事業の充実を図るため、その基礎となる次のような調査研究活動を行います。

- ①収蔵品に関する調査研究
- ②秋田県の近・現代美術に関する調査
- ③保存・管理、教育普及活動、展示活動、創作に関する調査研究
- ④その他の調査

Research Activities

We are constantly researching in order to increase our knowledge and to improve the museum's collections.

- ① Permanent collection
- ② Modern and contemporary fine art from Akita Prefecture
- ③ Topics relating to the creation, exhibition and preservation of art, as well as the contribution of fine art to education
- ④ Other research

◆広報出版

県民に親しまれる芸術文化活動の拠点として、種々の印刷物の刊行やマスメディアとの連携等により、美術館事業に関する情報を提供します。

Publicity Works Activities

As a center of art and cultural activity for People in Akita, we provide information about museum operations through pamphlets and the mass media.

◆教育普及

誰でもが気軽に利用できる美術館を目指し、展示活動を始め、講演会・美術館講座・実技講座等様々な事業を行います。また、美術館ボランティアAMC(アムック)との連携により、より積極的な普及活動を行います。

Educational Activities

In cooperation with the museum volunteer group(AMC), we hold various lectures, seminars and workshops.

2011(平成23)年度事業一覧

月／事業	企 画 展	コレクション展	講演会・コンサート・移動展ほか
2011			
4	2月5日(土)-4月17日(日) 雪と遊ぶ～ 冬を楽しむ美術展	1月21日(金)-4月10日(日) ピックアップアーティスト 「伊藤 彌四夫」	
5	4月23日(土)-7月13日(水) アートで虫むし とびきりコラボ大作戦！	4月13日(水)-7月10日(日) A.R.A2011 第Ⅰ期 日本画セレクション	5/26(木)、27(金) 第60回全国美術館会議 会場：横手セントラルホテル、秋田県立近代美術館
6			
7			
8	7月22日(金)-9月25日(日) 光と影のファンタジー 藤城清治の世界展	7月13日(水)-10月10日(月) A.R.A2011 第Ⅱ期 THE 柴田安子	8/7(日)、20(土)、21(日)、9/24(土) 藤城清治サイン会(※後日日程に追加あり)
9			9/18(日) フルート・ソプラノ コンサート 出演：小野安広氏・佐々木華氏(Flute)、 小野真弓氏(Soprano)、大谷祥子氏(Piano)
10	10月1日(土)-11月27日(日) ハイチの素朴な絵画展		10/2(日)～29(土) ネットワーク事業「福田豊四郎展」 会場：秋田県立図書館
11		10月14日(金)-1月9日(月) A.R.A2011 第Ⅲ期 日本画の風景	10/9(日) ジャズコンサート：ハイチに祈りを捧げて 出演：布施通氏(Guitar)、村山文夫氏(Drum)、 湯川光郎氏(Bass)
12	12月3日(土)-2月12日(日) 時代のよそおい展		10/30(日) 前田英樹ピアノコンサート 出演：前田英樹氏(音楽家)
			11/6(日)～10(木) 出前美術館：能代市立二ツ井小学校
			12/10(土)～1/31(火) ネットワーク事業「伊藤博次展」 会場：秋田県立図書館
2012			
1	同上	同上	
2	同上	1月20日(金)-4月8日(日) A.R.A2011 第Ⅳ期 見いだされたフォルム	2/6(月)～26(日) 「レオナール・フジタがやってきた」角館展 会場：仙北市角館町平福記念美術館
3	2月18日(土)-4月15日(日) 赫い女 紺野五郎素描展		

『室町時代の美術』

講師：河野元昭

(秋田県立近代美術館長、東京大学名誉教授)

5/15(日)

1. オーバチュア 北山文化と東山文化 金閣と銀閣

6/12(日)

2. 初期水墨画 黙庵と可翁

7/10(日)

3. 詩画軸 柴門新月図と陶淵明賞菊図

9/11(日)

4. 二人の美術ディレクター 明兆と周文

10/16(日)

5. 雪舟等楊 天橋立図と破墨山水図

11/6(日)

6. 関東水墨画 祥啓と雪村

1/8(日)

7. 土佐派とやまと絵 光信・光茂・町絵師

2/5(日)

8. 狩野派登場 正信と元信

6/26(日)

アートで虫むし展ワークショップⅠ

「デジタルカメラで撮る昆虫と自然」

講師：小檜山賢二氏(慶應大学名誉教授)

7/3(日)

アートで虫むし展ワークショップⅡ

「石でムシをつくろう」

講師：佐藤正和重孝氏(彫刻家)

7/30(土)、31(日)

夏休み親子美術教室「木のクラフト教室」

8/7(日)、21(日)、28(日)

美術館教室Ⅰ 油彩画

講師：澁谷重弘氏(秋田公立美術工芸短期大学教授)

9/25(日)、10/16(日)

美術館教室Ⅱ 彫刻

講師：皆川嘉博氏(秋田公立美術工芸短期大学准教授)

11/6(日)

美術館教室Ⅲ 日本画

12/18(日)

みんなの教室「グリーティング・カードをつくろう」

2/26(日)

美術館教室 デッサン

3/4(日)

みんなの教室 水彩画

2011

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2012

1

2

3

i アートで虫むし とびきりコラボ大作戦！展

会 期：2011(平成23)年 4 月23日(土)～7 月13日(水)
主 催：秋田県立近代美術館
協 力：秋田県立博物館
担 当：沼田 仁

この展覧会は、2006(平成18)年実施の企画展「アートでむしむし展」の第二弾として開催。名前の通り「虫」が登場するアート作品を県内外からそろえ、「描く」「創る」「現在の美術」の3つのテーマで絵画、彫刻・工芸、写真・現代美術を紹介した。作品に登場する「虫」と同じ標本をそろえて展示することで、アーティストの表現と見比べられるように構成した。

アーティストによって新たな命を吹き込まれた虫たちには、様々な表現の仕方があり、それぞれに新鮮な驚きと興味をもってくれたことが子供たちの感想からもうかがえた。なお、5階無料スペースには、むしを描いた児童生徒ギャラリー「みんなの虫むしランド」も設置した。



- 1 描 く：絵の中に息づく虫 ・標本アラカルト スケッチ・標本・日本画・洋画：第1・2展示室
- 2 創 る：願いが込めれた立体の虫 彫刻・工芸, 民芸品：第3展示室
- 3 現在の美術：新しい表現に登場する虫 写真・標本・絵本原画：第4展示室

第1展示室 スケッチ・日本画

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	備考
1	福田豊四郎	ヒメヤママユガ	1922(大正11)	紙・墨、水彩	28.0×19.8	
2	福田豊四郎	ウスタビガ	—	紙・鉛筆、水彩	18.2×25.8	
3	福田豊四郎	シンジュサン	—	紙・鉛筆、水彩	27.5×38.0	
4	福田豊四郎	ショウリョウバッタ	—	紙・鉛筆、水彩	28.7×37.3	
5	福田豊四郎	バッタ	—	紙・鉛筆、水彩	28.0×37.8	
6	福田豊四郎	セスジツムシとトウモロコシ	1922(大正11)	紙・鉛筆、水彩	36.6×57.1	
7	福田豊四郎	エンマコオロギ	—	紙・鉛筆、水彩	20.8×29.0	
8	福田豊四郎	クツワムシ・ウマオイ	—	紙・鉛筆、水彩	25.4×40.8	
9	福田豊四郎	アブラゼミ 1	—	紙・鉛筆	28.7×20.3	
10	福田豊四郎	エゾゼミ	—	紙・鉛筆	29.1×20.6	
11	福田豊四郎	ミンミンゼミ、ゲンゴロウ、 モンシロチョウなど	—	紙・鉛筆	28.7×20.3	
12	福田豊四郎	ヒグラシ	—	紙・鉛筆、水彩	28.7×20.3	
13	福田豊四郎	田園抄 8月(村童12ヶ月)	1964(昭和39)	紙本着色	17.8×13.9	※12枚組内の1枚
14	福田豊四郎	セミの脱皮	—	紙・鉛筆、水彩	28.7×20.3	
15	福田豊四郎	クマゼミ	—	紙・鉛筆	20.6×29.0	
16	福田豊四郎	アブラゼミ 2	—	紙・鉛筆	21.5×18.0	
17	福田豊四郎	アブラゼミ、ミンミンゼミ	—	紙・鉛筆	20.6×28.9	
18	福田豊四郎	トンボとホタルブクロ	—	紙・鉛筆、水彩	37.1×28.1	
19	福田豊四郎	アカトンボ	1939(昭和14)頃	紙・鉛筆、水彩	14.3×37.2	
20	福田豊四郎	トンボ	—	紙・鉛筆、水彩	29.0×20.6	
21	福田豊四郎	トンボ、モンシロチョウ	—	紙・鉛筆、水彩	25.3×35.8	
22	福田豊四郎	ヤンマとオモダカ	—	紙・鉛筆、水彩	28.4×24.8	
23	福田豊四郎	カマキリ	1952(昭和27)	紙・鉛筆、水彩	27.4×39.5	

24	福田豊四郎	カマキリ、オンブバッタ、ー イナゴ、クルマバッタ		紙・鉛筆	20.6×28.8
25	平福 百穂	秋草図	1927(昭和2)頃	紙本墨画淡彩襖(4面)	各177.0×89.8
26	藤田 嗣治	猫と蜂	1938(昭和13)頃	紙本墨画	137.8×32.8
27	奈良 裕功	モンシロチョウとモンキチョウ・キク	1922(大正11)頃	紙・墨、水彩	28.0×19.8
28	奈良 裕功	キチョウとキク・モンシロチョウとキク	1922(大正11)頃	紙・墨、水彩	25.5×34.9、25.4×34.8
29	奈良 裕功	モンキチョウ、ハナアブ ウラナミシジミとキク	1922(大正11)頃	紙・墨、水彩	28.0×19.8
30	奈良 裕功	ウラギンヒョウモンチョウ	1940(昭和15)	紙・墨、水彩	28.2×40.1
31	奈良 裕功	ジャコウアゲハ	1926(大正15)	紙・墨、水彩	24.9×34.0
32	奈良 裕功	アゲハチョウ	1926(大正15)	紙・墨、水彩	25.1×34.0
33	奈良 裕功	ザクロ・クビキリギス1	1934(昭和9)	紙・墨、水彩	28.2×40.1
34	奈良 裕功	ザクロ・クビキリギス2	1934(昭和9)	紙・墨、水彩	28.2×40.2
35	奈良 裕功	オニヤンマとナツアカネ	1920(大正9)頃	紙・墨、水彩	25.1×34.7
36	奈良 裕功	トンボ	1920(大正9)頃	紙・墨	25.1×34.5
37	奈良 裕功	シオカラトンボ	1920(大正9)	紙・墨、水彩	24.2×32.7
38	奈良 裕功	ギンヤンマ・カタツムリ	1924(大正13)	紙・墨、水彩	25.1×34.0
39	奈良 裕功	カマキリ1	1922(大正11)	紙・墨	25.2×34.7
40	奈良 裕功	カマキリ2	1922(大正11)	紙・墨	24.2×33.1
41	奈良 裕功	カマキリ3	1922(大正11)	紙・墨	24.2×33.1
42	奈良 裕功	カマキリ4	1922(大正11)	紙・墨	24.2×33.1
43	奈良 裕功	カマキリ5	1922(大正11)	紙・墨	24.2×33.1
44	奈良 裕功	カマキリ6	1922(大正11)	紙・墨	24.2×33.1

昆虫標本箱

1, ガのなかま (日本) 14種14頭	※秋田県立博物館蔵
2, チョウのなかま3 (日本) 18種21頭	※秋田県立博物館蔵
3, チョウのなかま4 (外国) 11種11頭	※秋田県立博物館蔵
4, ミイロタテハのなかま (外国) 12頭	※秋田県立博物館蔵
5, トンボ・カマキリ・セミなど (日本・外国) 19種19頭	※秋田県立博物館蔵
6, チョウのなかま1 (日本) 21種25頭	※秋田県立博物館蔵
7, チョウのなかま2 (日本) 11種14頭	※秋田県立博物館蔵
8, ハチ・バッタ・コオロギ (日本・外国) 18種24頭	※秋田県立博物館蔵
9, カブトムシ・クワガタのなかま (日本・外国) 15種17頭	※秋田県立博物館蔵
10, ゾウムシ・カブトムシ・クワガタのなかま (日本・外国) 25種25頭	※佐藤正和重義氏蔵

第2展示室 日本画・洋画

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	備考
45	福田豊四郎	南瓜と少年	1935(昭和10)	紙本着色額装	125.5×96.2	
46	福田豊四郎	案山子を立てる人	1931(昭和6)	紙本着色額装	176.0×70.4	
47	福田豊四郎	六月の森	1936(昭和11)	紙本着色屏風(2曲1隻)	210.3×235.0	文展招待展
48	福田豊四郎	木の根と蝶	1935(昭和10)	紙本着色軸装	66.0×85.0	第7回秋田美術展・個人蔵
49	工藤 甲人	夢と覚醒	1971(昭和46)	紙本着色額装	195.0×135.0	第35回新制作展・ 青森県立美術館蔵
50	工藤 甲人	虫の宿	1985(昭和60)	紙本着色額装	204.0×143.0	第12回創画展・ 青森県立美術館蔵
51	工藤 甲人	風歴	1978(昭和53)	紙本着色額装	142.0×200.0	第5回創画展・ 弘前市立博物館蔵
52	堀 文子	廃墟	1948(昭和23)	紙本着色額装	88.1×70.7	
53	高橋 萬年	四季彩	—	紙本着色額装	150.0×150.0	
54	鷹山 宇一	牧歌	1958(昭和33)	キャンバス・油彩	90.7×73.0	第43回二科展・七戸町立 鷹山宇一美術館寄託品

55	鷹山 宇一	海濱の花	1980(昭和55)	キャンバス・油彩	116.8×116.9	青森県立美術館蔵
56	鷹山 宇一	小さな世界	1993(平成5)	キャンバス・油彩	72.8×60.8	1993春季二科展・七戸町立 鷹山宇一美術館寄託品
57	内田 慎蔵	枯葉一葉	1970(昭和45)	キャンバス・油彩	90.7×116.7	
58	金沢秀之助	熱国の春(壁画習作)	—	キャンバス・油彩	72.7×90.9	
59	金沢秀之助	熱帯幻想(ある壁画のために)	—	キャンバス・油彩	53.0×65.2	

第3展示室 彫刻

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
60	佐藤正和重孝	Lucinus cervus(デューラーのミヤマクワガタ)	2010(平成22)	ブロンズ	14.6×7.0×3.8
61	佐藤正和重孝	緑色の顔をしたスカラベ	1995(平成7)	赤御影石・蛇紋石・黒曜石	56.0×26.0×37.0
62	佐藤正和重孝	ダイナステスの黄甲冑	2010(平成22)	ゴールドデンマーブル	43.0×69.0×104.0
63	佐藤正和重孝	キベリルリタマムシ	2009(平成21)	グリーンパール御影石・大理石に象嵌	17.0×40.0×11.0
64	佐藤正和重孝	メンガタクワガタのヘルメット	2005(平成17)	御影石	37.0×63.0×33.0
65	佐藤正和重孝	セラムドウナガテナガコガネ	2010(平成22)	御影石・ブロンズ	27.5×41.0×54.0
66	佐藤正和重孝	寄り添うフローレス島のクワガタ	2009(平成21)	黒御影石・ブロンズ	♂144.0×68.0×64.0 ♀50.0×23.0×15.0
67	佐藤正和重孝	甲刀(こうがたな)	2009(平成21)	六方石・白御影石	17.0×27.0×65.0
68	佐藤正和重孝	ウエストウッドィオオシカクワガタ	2010(平成22)	黒御影石・六方石	49.0×81.0×26.5
69	佐藤正和重孝	ドルクスホペイの供養ナイフ	2010(平成22)	黒御影石・木・皮ひも	67.0×8.0×9.5
70	佐藤正和重孝	Hexarthrus forsteri (フォルスターフタマタクワガタ)	2009(平成21)	本小松石	52.5×22.0×12.0

第3展示室 工芸・民芸品等(梅谷献二コレクション(独) 農業環境技術研究所蔵)

No.	国名(都市等)	品名	制作年代等	素材など	寸法 (cm)
71	インドネシア(バリ島)	カマキリ 1 置物	—	白木硬木、民芸品	体長25.0×37.0
72	インドネシア(バリ島)	ケラ 置物	—	白木硬木一本彫、銘あり	体長40
73	中国(香港)	コガネムシ 置物	—	ゾウゲヤシ細工伝統工芸	体長3.6
74	エジプト	石彫のスカラベ 3点	—	軟石製、骨董品	体長約11.5
75	日本(静岡)	蟬の土笛	—	土、民芸品	体長5.3
76	中国(香港)	蟬 置物	—	ゾウゲヤシ細工伝統工芸	体長4.3
77	中国	ガラス製蟬	漢墓より出土	ガラス	体長4.5
78	中国	玉蟬 1	清代	玉	体長5.0
79	中国	玉蟬 2	清代	玉	体長4.5
80	中国	玉蟬 3	明代	玉	体長4.5
81	中国(北京)	骨董品 蟬の小物入れ	—	螺鈿細工	体長18.0
82	フランス	蟬のマッチ入れ	アールヌーボー期	黄銅、作者名刻字	体長11.5
83	中国(北京)	蟬型の端溪硯	—	硯	体長26.0
84	中国	骨董品蟬2点(出土品がモデル)	—	体・陶製漆彩色、翅・脚黄銅製	体長5.0
85	ジンバブエ	カマキリ 置物 2点	—	銅細工、民芸品	体長8.0、8.5
86	中国	石彫の蜂の巣 置物	—	青田石	巣14.0
87	インドネシア(ジャカルタ)	タガメ 祭具	—	軟木一本彫	体長36.0
88	フィンランド	鋳物の蚊 置物 2点	—	錫製、民芸品	翅の開長6.3
89	英国	ハサミムシ 展示品	—	鉄製、大英博物館展示用特注品	体長23.0
90	英国	鋳物のカミキリムシ 実用品	—	鉄製、伝統的な長靴を脱ぐ道具	体長26.0
91	韓国	バッタ 置物	—	真鍮、工芸作品	体長15.0
92	スリランカ	コノハムシ 置物	—	真鍮、作者イニシヤル刻	体長10.0
93	メキシコ	アステカのバッタ 置物	—	素焼き、展覧会用手作り	体長21.0
94	コンゴ	木彫のバッタ 置物	—	軟木一本彫り、民芸品	体長17.0
95	インドネシア(バリ島)	カマキリ 2 置物	—	黒檀、民芸品	体長12.0×28.0
96	インドネシア(ジャカルタ)	カマキリ 3 灰皿	—	白木軟木、民芸品	体長31.0

第4展示室 写真（写真集「象虫」：第41回講談社出版文化（写真）賞受賞より）

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
97	小檜山賢二	チャイロツルクビオトシブミ	2010(平成22)	写真（アルミ複合板）	100.0×150.0
98	小檜山賢二	チャケブカゾウムシ	2010(平成22)	写真（アルミ複合板）	100.0×150.0
99	小檜山賢二	イタヤハマキチョッキリ	2010(平成22)	写真（アルミ複合板）	100.0×150.0
100	小檜山賢二	オオゾウムシ	2010(平成22)	写真（アルミ複合板）	100.0×150.0
101	小檜山賢二	オオアオカクチゾウムシ	2010(平成22)	写真（アルミ複合板）	100.0×150.0
102	小檜山賢二	サイチョウモドキゾウムシ	2010(平成22)	写真（アルミ複合板）	100.0×150.0
103	小檜山賢二	エゴヒゲナガゾウムシ	2010(平成22)	写真（アルミ複合板）	100.0×150.0
104	小檜山賢二	アオカザリゾウムシ他11種	2010(平成22)	写真（アルミ複合板）	100.0×200.0
105	小檜山賢二	ロクロクビオトシブミ	2010(平成22)	写真（アルミ複合板）	100.0×200.0

昆虫標本箱

11, ゾウムシのなかま（日本・外国）22種32頭

※小檜山賢二氏蔵

第4展示室 絵本原画、ドローイング（鴻池朋子作・絵本「みみお」、「焚書 World of Wonder」より）

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法（cm）
106	鴻池 朋子	やわらかく まるまって眠っている	2001(平成13)	紙・鉛筆、原画	39.7×54.4
107	鴻池 朋子	世界はいつも密やかで すばらしく謎に つつまれている	2001(平成13)	紙・鉛筆、原画	39.7×54.4
108	鴻池 朋子	あ さわった 糸よりかるい脚	2001(平成13)	紙・鉛筆、原画	39.7×54.4
109	鴻池 朋子	耳もとで くすぐりうなる マルハナバチ	2001(平成13)	紙・鉛筆、原画	39.7×54.4
110	鴻池 朋子	ひんやりとした土の上で待つ あまい霧のはじまり	2001(平成13)	紙・鉛筆、原画	39.7×54.4
111	鴻池 朋子	夏 まっすぐにむかってくる夏 たくさんのいきものの糞のにおいがする	2001(平成13)	紙・鉛筆、原画	39.7×54.4
112	鴻池 朋子	むらむらと不満をためこむ空 すべてをこの手にいれる欲望	2001(平成13)	紙・鉛筆、原画	39.7×54.4
113	鴻池 朋子	顔を洗ってよみがえる さあっと風 蟲たちが青のかなたへ姿を消す	2001(平成13)	紙・鉛筆、原画	39.7×54.4
114	鴻池 朋子	明けがたに夢みる ネムの落ちる音 かさかさとしてぎすてる命	2001(平成13)	紙・鉛筆、原画	39.7×54.4
115	鴻池 朋子	これは春にであったマルハナバチ 温かくためた息 を吹きかけても その黒い瞳は じっと動かない	2001(平成13)	紙・鉛筆、原画	39.7×54.4
116	鴻池 朋子	「焚書 World of Wonder」より	2007(平成19)	紙・鉛筆	41.8×50.9

5階通路無料スペース（北側廊下） 児童生徒ギャラリー —みんなの虫むしランドー

No.	作家名	材質など
1～21	秋田県内各小中学校の児童生徒による虫絵画・21点	紙・水彩・クレヨン等

◇関連記事

あきたタウン情報	4月号、6月号
mari*mari*	Vol.102(2011.4.8)
秋田魁新報社	4/14、4/28、6/2、6/8、6/29
毎日新聞	4/21、6/23
読売新聞	4/26
take up!	5月号、6月号
rakra	5・6月号
月刊アンドナウ	5月号、6月号、7月号
Hug-Motto	Vol.20(2011年6月号)

ii. 光と影のファンタジー 藤城清治の世界展

会期：2011(平成23)年7月22日(金)～9月25日(日)

主催：藤城清治の世界展実行委員会

(秋田魁新報社、秋田県立近代美術館)

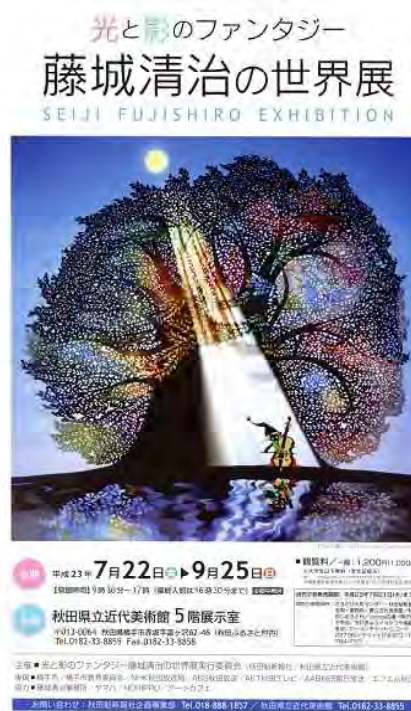
後援：横手市、横手市教育委員会

協力：藤城清治事務所、ヤマハ、HORIPRO、アートカフェ

担当：樫尾康子、三浦直

影絵界の第一人者藤城清治の影絵作品と油彩画、デッサンなどあわせて202点を展示した。影絵は、初期のモノクロ作品から、秋田の「ミズバショウ」「赤神神社五社堂」「水玉の中のメルヘンかまくら」など、この展覧会のために制作された新作まで展示された。

展示室には影絵のための壁を張り巡らし、作品の裏側から蛍光灯をあてて、印刷物では味わえない幻想的な光と影の世界を表現した。水や鏡を使った美しい影絵展示も好評で、87歳の現在も様々な表現に挑戦する藤城清治の展覧会は多くの鑑賞者で賑わった。



No.	題 名	制作年	寸法 (mm)	備考
1	白い服の少女	1944(昭和19)	—	※ 油彩
2	青の女の子	1945(昭和20)	—	※ 素描淡彩
— 影絵との出会い —				
3	日の出の踊り (詩：北畠八穂)	1953(昭和28)	600×500	※ 2010年再制作
4	空とぶこびと (詩：北畠八穂)	1953(昭和28)	600×450	
5	もみじ (モノクロ)	—	450×335	
6	木馬	1955(昭和30)	650×730	※ 再制作
7	水の音	1959(昭和34)	665×575	
8	月夜の道	1972(昭和47)	600×430	
9	ふみきり (詩：菱山修三)	1988(昭和63)	590×395	
10	鬼のギター	2011(平成23)	800×750	
11	こうもり傘	1988(昭和63)	395×395	
12	つりのこびと	1987(昭和62)	395×400	
13	階段	1988(昭和63)	400×400	
14	人魚姫 (モノクロ)	1976(昭和51)	510×745	
雨を降らせた傘屋さん — 日本の民話より —				
15	雨を降らせた傘屋さん 1	1957(昭和32)	500×700	
16	雨を降らせた傘屋さん 2	1957(昭和32)	550×450	
17	雨を降らせた傘屋さん 3	1957(昭和32)	400×550	
18	雨を降らせた傘屋さん 4	1957(昭和32)	450×480	
19	雨を降らせた傘屋さん 5	1957(昭和32)	500×700	
20	雨を降らせた傘屋さん 6	1957(昭和32)	600×450	
中央公論 連載 — 「西遊記」より —				
21	西遊記 孫悟空の顔 (小)	1958(昭和33)	600×750	
22	西遊記 女の顔 (小)	1958(昭和33)	600×770	
23	西遊記 牛魔王よ、芭蕉扇を貸せ！！	1958(昭和33)	2000×730	
24	西遊記 三人の弟子たち	1958(昭和33)	1050×750	
25	西遊記 ニセ悟空現わる	1958(昭和33)	1060×760	

26	西遊記 三つの鈴	1958(昭和33)	1050×750	
27	西遊記 黒大王と悟空の戦い	1958(昭和33)	1070×910	
28	西遊記 老魔の口の中へ	1962(昭和37)	1065×905	
29	西遊記 女ばかりの都	1958(昭和33)	2000×750	
ー シルエットからカラーへ ー				
こびとのおひっこし ーアイルランド民話よりー				
30	こびとのおひっこし 1	1954(昭和29)	760×670	※ 2006年着色修復
31	こびとのおひっこし 2	1954(昭和29)	750×530	※ 2006年着色修復
32	こびとのおひっこし 3	1954(昭和29)	450×690	※ 2006年着色修復
33	こびとのおひっこし 4	1954(昭和29)	1500×610	※ 2006年着色修復
34	こびとのおひっこし 5	1954(昭和29)	1500×610	※ 2006年着色修復
ピルゼン(銀座交詢社ビル1階ビヤホール)の50数年前の初めての影絵壁画				
35	ガラス絵 ピルゼン 街角で乾杯	1952(昭和29)	ー	
36	ガラス絵 ピルゼン 酒樽馬車と男	1952(昭和29)	ー	
37	ガラス絵 ピルゼン 酒樽小屋	1952(昭和29)	ー	
38	ガラス絵 ピルゼンバッカス (ビヤホール)	1952(昭和29)	ー	
39	ガラス絵 ピルゼン 丘にのぼる酒樽馬車	1952(昭和29)	ー	
40	花かげ	1976(昭和51)	600×410	
41	歌シリーズ みかんの花咲く丘	1976(昭和51)	550×395	
42	証城寺の狸ばやし	1976(昭和51)	660×470	
43	カンは踊る	1990(平成2)	590×590	
44	こびととローソク	1974(昭和49)	370×505	
45	アンデルセン全集表紙 月と白鳥	1975(昭和50)	345×500	
46	白鳥にのってメルヘンの旅	1975(昭和50)	390×555	
47	世界ことわざ辞典	1987(昭和62)	620×420	
48	菜の花の道	1980(昭和55)	565×575	
49	蝶と少女	1983(昭和58)	595×595	
50	風のメルヘン	1984(昭和59)	580×570	
51	夕焼けをみる少女 (よろこびの遊び 3)	1987(昭和62)	1040×500	
52	月光の響 (小)	1981(昭和56)	638×638	
53	ふしぎな帽子	1987(昭和62)	530×750	
54	春のデュエット	1989(昭和64)	610×610	
55	慶応大学 三田福沢諭吉記念演説館	1975(昭和50)	620×720	
56	ルードヴィヒⅡ世とノイシュヴァンシュタイン城	2006(平成18)	1800×1540	※ 水槽前展示
57	風の中の白いピアノ	2001(平成13)	1500×1000	※ 水槽前展示
58	人魚姫	1979(昭和54)	590×590	
59	宮沢賢治童話 銀河への旅	1978(昭和53)	510×510	
60	月輪へ向かって	2002(平成14)	800×640	
61	スカンクの樹	1986(昭和61)	700×750	
62	シャクンタラー姫	1984(昭和59)	960×520	
63	小さいイーダの花	1979(昭和54)	450×690	
マイケル・ジャクソン追悼 「ウィ・アー・ザ・ワールド」(歌が世界を動かした)より				
64	ウィ・アー・ザ・ワールド マイケル・ジャクソン(追悼)	2009(平成21)	609×705	
65	ウィ・アー・ザ・ワールド 難民キャンプにならぶこどもたち	1997(平成9)	1160×575	
66	ウィ・アー・ザ・ワールド 飢餓に苦しむアフリカのこどもたち	1997(平成9)	1035×570	
67	ウィ・アー・ザ・ワールド 3人のレコーディング	1997(平成9)	958×563	
68	ウィ・アー・ザ・ワールド 45人のビッグスター	1997(平成9)	1270×563	
69	ウィ・アー・ザ・ワールド 歌手たちの救済への呼びかけ	1997(平成9)	1280×557	
70	ウィ・アー・ザ・ワールド アフリカの実情を語る エチオピアの女性	1997(平成9)	765×573	
71	ウィ・アー・ザ・ワールド 歌が世界を動かした	1997(平成9)	1515×430	
72	ウィ・アー・ザ・ワールド ラジオ局から世界へメッセージ	1997(平成9)	1130×570	

73	ウィ・アー・ザ・ワールド 喜びにあふれるアフリカのこどもたち	1997(平成9)	1549×543	
三つのオレンジ ラング童話集よりー				
74	三つのオレンジ 1	1974(昭和49)	570×640	
75	三つのオレンジ 2	1974(昭和49)	580×640	
76	三つのオレンジ 3	1974(昭和49)	550×500	
77	三つのオレンジ 4	1974(昭和49)	1190×550	
78	三つのオレンジ 5	1974(昭和49)	800×590	
ぶどう酒びんのふしぎな旅ーアンデルセン童話よりー				
79	表紙画	2010(平成22)	555×518	※ レプリカ
80	ぶどう酒びんのふしぎな旅1 はじまりの家	2004(平成16)	1000×700	※ レプリカ
81	ぶどう酒びんのふしぎな旅2 窓辺のおばあさん	2010(平成22)	520×520	
82	ぶどう酒びんのふしぎな旅3 水のみになったびんの口	2010(平成22)	500×400	
83	ぶどう酒びんのふしぎな旅4 酒屋への荷車	2004(平成16)	500×348	
84	ぶどう酒びんのふしぎな旅5 最高級ぶどう酒のラベル	2010(平成22)	400×500	
85	ぶどう酒びんのふしぎな旅6 毛皮商人が買う	2010(平成22)	600×445	
86	ぶどう酒びんのふしぎな旅7 池のほとりの馬車	2004(平成16)	847×647	
87	ぶどう酒びんのふしぎな旅8 森のバスケット	2004(平成16)	595×497	
88	ぶどう酒びんのふしぎな旅9 乾杯	2004(平成16)	500×400	
89	ぶどう酒びんのふしぎな旅10 口づけ	2010(平成22)	500×500	
90	ぶどう酒びんのふしぎな旅11 池に落ちる	2004(平成16)	500×400	
91	ぶどう酒びんのふしぎな旅12 薬酒を入れる	2004(平成16)	349×499	
92	ぶどう酒びんのふしぎな旅13 航海の始まり	2004(平成16)	398×297	
93	ぶどう酒びんのふしぎな旅14 沈む船から投げられる	2004(平成16)	950×597	
94	ぶどう酒びんのふしぎな旅15 海のように	2010(平成22)	597×499	
95	ぶどう酒びんのふしぎな旅16 びんの思い出	2004(平成16)	400×375	
96	ぶどう酒びんのふしぎな旅17 新たな航海	2004(平成16)	598×497	
97	ぶどう酒びんのふしぎな旅18 踊る人々	2004(平成16)	1000×550	※ レプリカ
98	ぶどう酒びんのふしぎな旅19 おばあさんとびんの灯り	2010(平成22)	550×400	※ レプリカ
99	ぶどう酒びんのふしぎな旅20 気球乗りが買う	2010(平成22)	295×495	
100	ぶどう酒びんのふしぎな旅21 気球から落とす	2004(平成16)	597×498	
101	ぶどう酒びんのふしぎな旅22 割れるびん	2010(平成22)	1000×490	※ レプリカ
102	ぶどう酒びんのふしぎな旅23 おばあさんと友達	2010(平成22)	498×500	
103	ぶどう酒びんのふしぎな旅24 おわりの家	2009(平成21)	1000×800	※ レプリカ
104	クリスマスの夢	2000(平成12)	1000×1000	
105	歌シリーズ 四季のうた	1999(平成11)	820×820	
106	干支カレンダー トラのサーカス	1998(平成10)	670×670	
107	干支カレンダー ねずみの吉夢	1996(平成8)	640×640	
108	大きな月 NHKみんなのうた用素材	1999(平成14)	1625×1065	※ 水槽前展示
ふくろねずみのしっぽの毛ーアメリカインディアンの昔話よりー				
109	ふくろねずみのしっぽの毛 1	1986(昭和61)	430×590	
110	ふくろねずみのしっぽの毛 2	1986(昭和61)	590×390	
111	ふくろねずみのしっぽの毛 3	1986(昭和61)	590×590	
112	ふくろねずみのしっぽの毛 4	1986(昭和61)	590×590	
113	ふくろねずみのしっぽの毛 5	1986(昭和61)	1030×490	
114	雨に咲く花	2001(平成13)	830×830	
115	ぼくの目は猫の目 (小)	1987(昭和62)	200×200	
116	カレード・スコープ (大)	1990年代	1800×1350	※ ビデオ映像作品
117	世界にかけるとり橋	1999(平成11)	2000×1500	※ 水槽前展示
118	虹と鳥	1990(平成2)	1000×1790	
119	はるかぜ	2001(平成13)	1780×1280	
120	アリスのハート	2005(平成17)	590×790	

121	光彩陸離	1998(平成10)	3670×2260	※ レプリカ
122	秋のうた	2004(平成16)	900×750	
絵本	マボロシの鳥	ー太田光原作よりー		
123	表紙	2011(平成23)	900×850	※ レプリカ
124	マボロシの鳥 1-1	町とオリオン劇場	2011(平成23)	800×800
125	マボロシの鳥 1-2	呼び込み	2011(平成23)	650×600
126	マボロシの鳥 1-3	照明室の支配人	2011(平成23)	650×600
127	マボロシの鳥 1-4	空気が足りない！倒れる芸人	2011(平成23)	800×500
128	マボロシの鳥 1-5	舞台袖のチカブー・アップ	2011(平成23)	650×600
129	マボロシの鳥 1-6	注目する客たち	2011(平成23)	650×600
130	マボロシの鳥 1-7	見とれる観客たち	2011(平成23)	1000×610
131	マボロシの鳥 1-8	劇場内を飛ぶ鳥	2011(平成23)	995×600
132	マボロシの鳥 2-1	神々の山脈	2011(平成23)	660×610 ※ レプリカ
133	マボロシの鳥 2-2	青年タンガタ	2011(平成23)	1020×620 ※ レプリカ
134	マボロシの鳥 2-3	目覚めた鳥	2011(平成23)	460×410 ※ レプリカ
135	マボロシの鳥 2-4	鳥を捕らえる	2011(平成23)	462×465
136	マボロシの鳥 3-1	寂れた劇場	2011(平成23)	1200×600 ※ レプリカ
137	マボロシの鳥 3-2	土下座する支配人	2011(平成23)	1010×610
138	マボロシの鳥 3-3	酒場の喧噪	2011(平成23)	800×400
139	マボロシの鳥 3-4	火をつけようと思った	2011(平成23)	800×400
140	マボロシの鳥 4-1	鳥への想い・鳥かごと王	2011(平成23)	970×620 ※ レプリカ
141	マボロシの鳥 4-2	鳥との別れ	2011(平成23)	1000×400
142	マボロシの鳥 5-1	公園のチカブー	2011(平成23)	1010×460
143	マボロシの鳥 5-2	劇場跡へ行く老チカブー	2011(平成23)	650×380
144	マボロシの鳥 5-3	絵の中の鳥	2011(平成23)	800×480 ※ レプリカ
145	マボロシの鳥 5-4	世界はつながっている	2011(平成23)	1360×640 ※ レプリカ
146	そよ風の天使	2001(平成13)	1000×750	
147	堂形のしいのき迎賓館	2010(平成22)	1500×1000	
148	四季のよろこびB	2007(平成18)	3206.5×760	
149	五社堂と九九九石段	2011(平成23)	1600×8000	
150	樹齢1500年大クス癒しの祈り	2010(平成22)	1500×1500	
151	三春の滝桜	2009(平成21)	1200×1000	
152	ローリングタワーで昼寝する猫たち	1979(昭和54)	950×710	
153	無限のかまくら	2011(平成23)	3000×2400	
154	刺巻湿原のミズバショウ	2011(平成23)	1600×1200	※ 水槽前展示
155	祈る姉妹	2001(平成13)	800×900	
156	みにくいあひるの子	2005(平成17)	1500×1000	
157	森の夜明け	2001(平成13)	830×760	
158	手作り建築の沢田マンション	2010(平成22)	1800×1200	
159	小さな恋の物語	2010(平成22)	1200×1200	
160	東尋坊	2010(平成22)	1800×1200	
161	銀閣寺	2009(平成21)	1000×1000	※ 水槽前展示
162	鍋冠山より長崎港俯瞰	2009(平成21)	2500×700	
163	知恩院三門	2009(平成21)	1500×1000	
164	兄弟なる太陽と造られたすべてのものの讃歌	2002(平成14)	2500×1500	※ 水槽前展示
165	金閣寺	2009(平成21)	1000×1000	※ 水槽前展示
166	ケロヨンユートのピア	1999(平成11)	1805×1510	
167	タワー 太陽は昇る (大)	2002(平成14)	950×5600	
168	リーフがそよぐシンフォニー (小)	2009(平成21)	1500×1300	※ レプリカ
169	光陰の中の巣立つ仔馬たち	2008(平成20)	1680×1890	※ レプリカ
170	竿燈まつり	2008(平成20)	1800×1200	

171 横手の雪まつり	2009(平成21)	827×627	
172 愛のカクテル	2004(平成16)	540×740	※ レプリカ
－ その他の作品 －			
なまはげ A (影絵)	2011(平成23)		※ 天井つり下げ
なまはげ B (影絵)	2011(平成23)		※ 天井つり下げ
なまはげ C (影絵)	2011(平成23)		※ 天井つり下げ
なまはげ D (影絵)	2011(平成23)		※ 天井つり下げ
ふくろうとぼく	2010(平成22)		※ デッサン
なまはげA	2011(平成23)		※ デッサン
なまはげB	2011(平成23)		※ デッサン
なまはげC	2011(平成23)		※ デッサン
なまはげD	2011(平成23)		※ デッサン
秋田市立赤レンガ郷土館	2009(平成21)		※ デッサン
横手城	2011(平成23)		※ デッサン
角館武家そば古泉洞	2011(平成23)		※ デッサン
赤神神社五社堂	2011(平成23)		※ デッサン
男鹿半島・入道崎灯台	2011(平成23)		※ デッサン
旧金子家住宅	2009(平成21)		※ デッサン
日新館	2011(平成23)		※ デッサン
太平山・小玉醸造	2011(平成23)		※ デッサン
武家屋敷通りのしだれ桜	2011(平成23)		※ デッサン
角館安藤醤油・味噌醸造本店	2011(平成23)		※ デッサン
角館しだれ桜	2011(平成23)		※ デッサン
刺巻湿原のミズバショウ	2011(平成23)		※ デッサン
チビ	—		※ デッサン
猫のシャブリ	2002(平成14)		※ デッサン
リズのほほえみ	2008(平成20)		※ デッサン
三代目のクック	2010(平成22)		※ デッサン
シルビア	1995(平成7)		※ デッサン
アラメよやすらかに	2007(平成19)		※ デッサン
自画像	2006(平成18)		※ デッサン
自画像	2008(平成20)		※ デッサン

◇関連記事

秋田魁新報	66日間中45日間掲載（広告含む）
月刊アンドナウ	7月号、8月号
山形新聞	7/22
岩手日報	7/22
東奥日報	7/22
横手市報	8/15
rakra	8・9月号
月刊MOE	9月号
あきたタウン情報	8月号、9月号
Hug-Motto	Vol. 22(2011年9月号)

iii ハイチの素朴な絵画展

会期：2011(平成23)年10月1日(土)～11月27日(日)

主催：秋田県立近代美術館

後援：駐日ハイチ大使館、ハイチ絵画芸術救済実行委員会、
秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、毎日新聞秋田支局、
読売新聞秋田支局、河北新報社、NHK秋田放送局、
ABS秋田放送、AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、
エフエム秋田

協力：FNSチャリティキャンペーン、佐藤文則

協賛：イオンリテール株式会社 東北カンパニー イオン横手店

企画協力：(株)三河屋奥右衛門

担当：三浦 直、田村 稔

カリブ海に浮かぶ島国ハイチ。「ハイチ絵画」は、ヨーロッパ絵画の枠にとらわれない自由奔放な作風で、世界的に高い評価を得ている。2011年3月11日、日本は未曾有の大地震に襲われた。ハイチも2010年1月12日、大地震に襲われ、多くの犠牲者を出した。双方の一日も早い復興への願いを込めて、ハイチ絵画98点、ドラムアート30点、工芸42点、佐藤文則氏のハイチ震災写真48点、合計218点のほか、ハイチの子どもたちの作品も展示した。展示室内に流れたハイチ音楽や、子ども向けの展示作品ぬり絵も好評だった。なお、東日本大震災の被災者の方々には、無料で観覧していただいた。また、会期中に実施したハイチ救援募金は、総額で185,026円に達した。



第1展示室 ハイチの風景と妖精

No.	作家名	作品名	材質など
1	ジェラルド・ロワソー	山の畑	アクリル
2	ジェラルド・ロワソー	山の畑	アクリル
3	ジェラルド・ロワソー	山の畑	アクリル
4	ジェラルド・ロワソー	山の農園	アクリル
5	P.E. リベルタン	ネオスの風景	アクリル
6	P.E. リベルタン	静かなたたずまい	アクリル
7	P.E. リベルタン	海岸の今の眺めと農園風景	アクリル
8	P.E. リベルタン	海岸の今の眺めと農園	アクリル
9	モーリス・ヴィタル	海底	アクリル
10	R. コンスタン	農園の小さな滝	アクリル
11	R. コンスタン	農園風景	アクリル
12	B. ラジュウネッス	田舎の静かな一日	アクリル
13	F. プティ	入り江のそばの農園風景	アクリル
14	ギー・ジョセフ	ラブトゥリー	アクリル
15	ギー・ジョセフ	恋人たちの樹	アクリル
16	J.N.E. キャデ	ゴナイーヴの農場風景	アクリル
17	J.N.E. キャデ	ゴナイーヴの農場風景	アクリル
18	J.N.E. キャデ	ゴナイーヴの農場風景	アクリル
19	J.N.E. キャデ	ゴナイーヴの農場風景	アクリル
20	デニス・ルソー	ある国の物語	アクリル
21	フォレスト・アヴリル	幻想の森	アクリル
22	フォレスト・アヴリル	妖精のいる風景	アクリル

23	カリクスト・アンリ	村にて	油彩
24	フレデリック・ピエール	不思議な果物のなる木	アクリル
25	フレデリック・ピエール	不思議な果物のなる木	アクリル

第2展示室 ハイチの自然と動物たち

No.	作家名	作品名	材質など
26	R. コンスタン	農園の滝とフラミンゴ	アクリル
27	F. プティ	フラミンゴのいる農園風景	アクリル
28	アンリ・ロベール・ブレスル	森とフラミンゴ	アクリル
29	アンリ・ロベール・ブレスル	滝とフラミンゴ	アクリル
30	フィルトン・ラトルチュール	狼の子を連れて散歩するライオンのカップル	アクリル
31	フィルトン・ラトルチュール	畑にいく狼とライオンの女の子	アクリル
32	イオン・ジャン・ピエール	ジャングル	アクリル
33	J. ゴーチェ	ジャングル	アクリル
34	J. ゴーチェ	ジャングル	アクリル
35	ジャック・フリッツ	ジャングル	アクリル
36	ジャック・フリッツ	ジャングル	アクリル
37	ジェーローム・ポリカルプ	ジャングル	アクリル
38	フリッツ・メリーズ	ライオンと虎	アクリル
39	ジャン・クロード・ポール	花の中のにわとり	アクリル
40	ジャン・クロード・ポール	花の中のおうむ	アクリル
41	ジャン・クロード・ポール	花の中のにわとりたち	アクリル
42	アルボット・ボナム	楽園	アクリル
43	アルボット・ボナム	楽園	アクリル
44	アルボット・ボナム	楽園	アクリル
45	アルボット・ボナム	楽園	アクリル
46	アルボット・ボナム	楽園	アクリル
47	ジャン・クロード・フェリックス	森の中のおうむ	アクリル
48	ジャン・クロード・フェリックス	森の中のおうむ	アクリル
49	ジャン・クロード・フェリックス	森の中のおうむ	アクリル
50	ジョサフォ・テイセン	森の中の3頭の一角獣	アクリル
51	オウデ・サユー	バナナの房	アクリル
52	オウデ・サユー	果物を売るために小舟から村に降りようとしている犬	アクリル
53	オウデ・サユー	愛し合っている2匹の犬	アクリル
54	オウデ・サユー	ドライブする2匹の犬	アクリル

第3展示室 ハイチの暮らしと人々

No.	作家名	作品名	材質など
55	フリッツネ・ラムール	かわいい浜辺	アクリル
56	フリッツネ・ラムール	美しい田園	アクリル
57	M. C. V. ライトチュール	海岸の散歩	アクリル
58	レイモンド・ラファイーユ	サンマルク市場の女たち	アクリル
59	レイモンド・ラファイーユ	サンマルク市場の女たち	アクリル
60	レイモンド・ラファイーユ	サンマルク市場の女たち	アクリル
61	クロード・ダンブレビーユ	市場風景	アクリル
62	ジャン・ダヴィット・ブールシコー	ジャクメル付近の農園の暮らし	アクリル
63	ジャン・ダヴィット・ブールシコー	ジャクメル付近の農園の暮らし	アクリル
64	ジャン・ダヴィット・ブールシコー	ジャクメル地方の農村の暮らし	アクリル
65	ジャン・ダヴィット・ブールシコー	村の魔教の祭りの情景	アクリル
66	ジャン・クロード・フェリックス	村の中にあがる風	アクリル
67	J. N. E. ピエール	畑しごと	アクリル

68	B. ラジュウネッス	山と農場の風景の中の小さい村	アクリル
69	アブネル・デウビック	村のくらし	アクリル
70	フレデリック・ピエール	ノッポの家	アクリル
71	フレデリック・ピエール	ノッポの家	アクリル
72	ジャン・エデュアール	結婚式	アクリル
73	ジャン・エデュアール	ハイチ岬のこどもたち	アクリル
74	ガリー・ドルサンヴィル	ハイチ岬通りのデモ行進	アクリル
75	フリッツ・メリーズ	男子専用バス	アクリル
76	フリッツ・メリーズ	女子専用のバス	アクリル
77	ポール・ジャン・ピエール	市場の中のトラック	アクリル
78	レオネール・ピエール	ハイチ岬の村落風景	アクリル
79	レオネール・ピエール	ハイチ岬の村落風景	アクリル
80	J. ピエール	市場風景	アクリル
81	J. ピエール	市場風景	アクリル
82	J. ピエール	市場風景	アクリル
83	J. ピエール	市場風景	アクリル
84	カジミール	闘鶏	アクリル
85	デュードンネ・ルアネ	子羊のいる家の中での魔教の祭り	アクリル
86	デュードンネ・ルアネ	小舟の中でのヴォドゥの祭り	アクリル
87	カリクスト・アンリ	丸いテーブルのそばに腰かける女	油彩
88	カリクスト・アンリ	花を持つ少女	油彩
89	ロジェ・フランソワ	女と雉鳩	アクリル
90	ロジェ・フランソワ	育てる	アクリル

第4展示室 ハイチの精霊と鎮魂

No.	作家名	作品名	材質など
91	プロスペール・ピエール・ルイ	ロアス	アクリル
92	プロスペール・ピエール・ルイ	ロアス	アクリル
93	ドネ・スミス	ロアス	アクリル
94	ドネ・スミス	ロアス	アクリル
95	ドネ・スミス	ロアス	アクリル
96	プレフェート・デュフォ	空想都市	アクリル
97	プレフェート・デュフォ	空想都市	アクリル
98	エニイー・セロイ	ヴォドゥ（魔教）のロアス（教祖）	艶消しアクリル
99		ドラムアート 30点	鉄
100		工芸品 42点	木、陶器など
101	佐藤文則	カラー・モノクロ写真 48点	写真・パネル

5階通路 ハイチの子ども絵画『マイタウン シティ』

No.	作家名	作品名	材質など
102	ハイチの子どもたち	日本の子どもたちに向けて描いた絵画 19点	クレヨン

◇関連記事

美術の窓	9月号
読売新聞	9/27
河北新報	9/28、10/27
Hug-Motto	Vol. 23(2011年10月号)
月刊アンドナウ	10月号
秋田魁新報	10/5、10/6、10/25、11/3
横手市報	11/1

月刊クーヨン 11月号
 mari*mari* Vol.129(2011.11/4)
 あきたタウン情報 11月号
 rakra 11・12月号

iv 時代のよそおい展

会期：2011(平成23)年12月3日(土)～2012(平成24)年2月12日(日)
 主催：秋田県立近代美術館
 協力：秋田県立博物館、秋田市立赤れんが郷土館
 担当：木村雅洋

明治以降海外から洋服がもたらされてから、和装中心だった日本女性のよそおいは徐々に変化してきた。そして画家たちの描く女性像にも、新たな時代に対応するかのよう、衣装などのよそおひのみならず、人物の描写・表現方法にも変化や多様性が見られるようになってくる。

今回の展示では、明治の寺崎廣業や大正の鐙木清方、昭和の福田豊四郎や横山津恵といった当館所蔵の代表的な作家たちの作品の中から、時代ごとのよそおひに焦点を絞り、画家たちのとらえた女性美とその変遷を紹介した。なお展示のテーマをより分かりやすくするため、秋田市立赤れんが郷土館の勝平版画コレクションや県立博物館の衣装資料などを借用し展示を構成してみた。



第1展示室：「古典の理想に学ぶー 描かれた古代の女性たち」(江戸後期・明治・大正①)

No.	作家名	作品	制作年	素材など	寸法 (cm)	所蔵先
1	寺崎 廣業	小野小町	1899(明治32)頃	絹本着色軸装	127.2×50.5	秋田県立近代美術館
2	平福 穂庵	鶴ヶ岡静ノ舞	1883(明治16)	絹本着色軸装	39.5×58.0	秋田県立近代美術館
3	平福 穂庵	江口ノ君 (寄託品)	1887(明治20)	絹本着色軸装	112.0×54.8	秋田県立近代美術館
4	山村 耕花	お七吉三	1910年代頃	絹本着色軸装対幅	各126.0×42.0	秋田県立近代美術館
5	長山 孔寅	梅下遊興図	1800年代初期	絹本墨画淡彩	62.5×150.0	秋田県立近代美術館
6	寺崎 廣業	美人観月図	—	絹本着色軸装	118.5×50.5	秋田県立近代美術館
7	寺崎 廣業	天平美人	1909(明治42)頃	絹本金地着色2曲1双	各152.5×172.5	秋田県立近代美術館
8	寺崎 廣業	夜聴歌者	1915(大正4)	絹本裏箔着色6曲1双	各166.6×370.8	秋田県立近代美術館
9	鐙木 清方	松と梅	1918(大正7)	絹本裏箔着色2面	各169.0×176.0	秋田県立近代美術館
10	平福 百穂	日本武尊・白鳥陵・相模の海	1918(大正7)	紙本墨画淡彩軸装3幅対	各156.0×47.4	秋田県立近代美術館
11	平福 百穂	神語	1918(大正7)	紙本淡彩軸装3幅対	各55.7×68.0	秋田県立近代美術館
12	式 紅地滝に菖蒲屋模様振袖		江戸時代末期	佐竹家家臣小貫家寄贈		秋田県立博物館
13	式 萌黄地四季草花屋御所車模様振袖		江戸時代末期	佐竹家家臣小貫家寄贈		秋田県立博物館

第2展示室：「現実をみつめるまなざしー 変わりゆく市井の女性たち」(江戸後期・明治・大正②)

No.	作家名	作品	制作年	素材など	寸法 (cm)	所蔵先
12	橋本 周延	真美人 洗濯	1897(明治30)	紙本木版	37.2×25.1	秋田市立赤れんが郷土館
13	橋本 周延	真美人 羽子	1897(明治30)	紙本木版	37.2×25.1	秋田市立赤れんが郷土館
14	橋本 周延	真美人 聞香	1898(明治31)	紙本木版	37.2×25.0	秋田市立赤れんが郷土館

15	橋本 周延	真美人 三々九度	1897(明治30)	紙本木版	37.2×25.0	秋田市立赤れんが郷土館
16	橋本 周延	真美人 手拭	1897(明治30)	紙本木版	37.2×25.0	秋田市立赤れんが郷土館
17	寺崎 廣業	美人	—	絹本着色軸装3幅対	各126.0×50.0	秋田県立近代美術館
18	平福 穂庵	墨堤舟遊	1887(明治20)	絹本着色軸装	127.5×55.0	秋田県立近代美術館
19	熊沢喜太郎	百花美人之内 さびしや	1896(明治29)	紙本多色刷石版	37.4×26.0	秋田市立赤れんが郷土館
20	小林鉄次郎	美人化粧之図	1888(明治21)	紙本石版筆彩	36.1×27.1	秋田市立赤れんが郷土館
21	荒川藤兵衛	婦人湯治之図	1890(明治23)	紙本単色石版	36.1×26.2	秋田市立赤れんが郷土館
22	福宮源治郎	金春銘妓 婦美	1886(明治19)	紙本石版筆彩	35.9×28.8	秋田市立赤れんが郷土館
23	福宮源治郎	吉原廊芸妓 幸	1881(明治14)	紙本石版筆彩	35.4×27.7	秋田市立赤れんが郷土館
24	藪崎芳次郎	金春芸妓 須磨子・角松	1887(明治20)	紙本石版筆彩	36.5×26.6	秋田市立赤れんが郷土館
25	藪崎芳次郎	開化美人	1889(明治22)	紙本石版筆彩	35.9×27.0	秋田市立赤れんが郷土館
26	熊沢喜太郎	令嬢桜狩	1890(明治23)	紙本単色石版	37.5×27.1	秋田市立赤れんが郷土館
27	勝山繁太郎	楽観菊	1889(明治22)	紙本石版筆彩	37.9×27.1	秋田市立赤れんが郷土館
28	勝山繁太郎	都之花	1889(明治22)	紙本石版筆彩	37.6×27.4	秋田市立赤れんが郷土館
29	田中 良三	佳境	1908(明治41)	紙本二色刷石版	47.1×34.5	秋田市立赤れんが郷土館
30	田中 良三	初手をり	1906(明治39)	紙本二色刷石版	47.0×35.0	秋田市立赤れんが郷土館
31	石井 柏亭	東京十二景 芝うら	1914(大正3)頃	紙本木版	39.7×26.4	秋田市立赤れんが郷土館
32	石井 柏亭	東京十二景 柳ばし	1910(明治43)	紙本木版	39.4×25.8	秋田市立赤れんが郷土館
33	山川 秀峰	赤い襟	1928(昭和3)	紙本木版	36.5×23.7	秋田市立赤れんが郷土館
34	山川 秀峰	たそがれ	1928(昭和3)	紙本木版	36.4×24.0	秋田市立赤れんが郷土館
35	伊東 深水	浅春	—	紙本木版	35.5×24.5	秋田市立赤れんが郷土館
36	伊東 深水	雪もよひ	1926(昭和元)	紙本木版	33.3×21.8	秋田市立赤れんが郷土館
37	竹久 夢二	逢状	—	紙本木版	42.7×30.8	秋田市立赤れんが郷土館
38	竹久 夢二	三味線堀	—	紙本木版	43.6×30.8	秋田市立赤れんが郷土館
39	竹久 夢二	朝の光へ	—	紙本木版	43.3×30.5	秋田市立赤れんが郷土館
40	竹久 夢二	泣き黒子	—	紙本木版	43.5×30.8	秋田市立赤れんが郷土館
41	竹久 夢二	舞姫	—	紙本木版	43.4×30.8	秋田市立赤れんが郷土館
42	草薙 興宗	若い婦人像	—	絹本着色軸装	82.6×49.5	秋田県立近代美術館
43	鏑木 清方	紅萩	—	絹本着色軸装	123.2×35.8	秋田県立近代美術館
参	染め模様の着物		大正～昭和			秋田県立博物館
四	女学生の袴 (美郷町)		大正～昭和			秋田県立博物館
五	女物マント (由利本荘亀田)		昭和			秋田県立博物館

第3展示室：「働く野良着の女性たち — 田園に見いだす美と豊かさ」(大正～昭和初期)

No.	作家名	作品	制作年	素材など	寸法 (cm)	所蔵先
44	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉かまど	1939(昭和14)	紙・木版	29.0× 40.4	秋田県立近代美術館
45	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉ドッタ	1940(昭和15)	紙・木版	29.0× 40.4	秋田県立近代美術館
46	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉かきだて	1943(昭和18)	紙・木版	29.0× 40.4	秋田県立近代美術館
47	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉みづき	1943(昭和18)	紙・木版	29.0× 40.4	秋田県立近代美術館
48	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉リンゴ	1940(昭和15)	紙・木版	29.0× 40.4	秋田県立近代美術館
49	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉まゆだま	1941(昭和16)	紙・木版	29.0× 40.4	秋田県立近代美術館
50	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉うまや	1940(昭和15)	紙・木版	29.0× 40.4	秋田県立近代美術館
51	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉ささまき	1942(昭和17)	紙・木版	29.0× 40.4	秋田県立近代美術館
52	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉いろり	1939(昭和14)	紙・木版	29.0× 40.4	秋田県立近代美術館
53	勝平 得之	〈秋田風俗十題〉はり	1941(昭和16)	紙・木版	29.0× 40.4	秋田県立近代美術館
54	福田豊四郎	秋田のマリヤ	1948(昭和23)	紙本着色3曲1隻	179.3×222.4	秋田県立近代美術館
55	堀 文子	八丈島風景	1949(昭和24)頃	紙本着色額装	70.7×88.1	秋田県立近代美術館
56	平福 百穂	夕涼(寄託品)	—	紙本着色軸装	122.6×33.0	秋田県立近代美術館
57	平福 百穂	草刈女	—	紙本着色軸装	147.1×50.5	秋田県立近代美術館
58	高橋 萬年	なわな	—	紙本着色軸装	132.1×31.1	秋田県立近代美術館
59	高橋 萬年	収穫	—	紙本着色2曲1隻	167.6×211.6	秋田県立近代美術館

60	高橋 萬年 田	1951(昭和26)	紙本着色2曲1双	各168.8×170.2	秋田県立近代美術館
61	福田豊四郎 夏郷	1934(昭和9)	紙本着色2曲1隻	218.8×178.6	秋田県立近代美術館
62	渡部 榮子 初春売り(寄託品)	1978(昭和53)	紙本着色額装	147.0×70.0	秋田県立近代美術館
63	横山 津恵 苗の頃	1958(昭和33)	紙本着色額装	175.7×211.2	秋田県立近代美術館
64	横山 津恵 花市の女たち	1963(昭和38)	紙本着色額装	151.5×227.3	秋田県立近代美術館
65	横山 津恵 犬っこ市	1966(昭和41)	紙本着色額装	151.5×76.4	秋田県立近代美術館
六	手甲 (由利本荘市黒沢)	昭和			秋田県立博物館
七	デダジマエダシ(由利本荘市町村)	昭和			秋田県立博物館
八	野良着を着た女性(マネキン・由利本荘市)	昭和			秋田県立博物館
九	ながてぬぐい(日浅コレクション)	昭和			秋田県立博物館
拾	嫁入り道具の端縫いの着物 (秋田市飯島)	昭和初期			秋田県立博物館

第4展示室：「洋服中心の生活へー 変化してゆくよそおいとアート」(昭和)

No.	作家名	作品	制作年	素材など	寸法 (cm)	所蔵先
66	福田豊四郎	街景	1932(昭和7)	紙本着色額装	97.0×71.1	秋田県立近代美術館
67	高橋 萬年	銀座尾張町	—	絹本着色額装	98.5×145.5	秋田県立近代美術館
68	岩崎 鐸	結婚式	1951(昭和26)	紙本着色額装	182.7×211.8	秋田県立近代美術館
69	横山 津恵	髪	1947(昭和22)	絹本着色額装	88.0×57.4	秋田県立近代美術館
70	横山 津恵	淳子	—	紙本着色額装	151.0×91.0	秋田県立近代美術館
71	横山 津恵	椅子	1950(昭和25)	紙本着色二曲一隻	149.0×170.0	秋田県立近代美術館
72	横山 津恵	草の上	1953(昭和28)	紙本着色額装	125.5×119.0	秋田県立近代美術館
73	荘司 福	秋立つ	1946(昭和21)	紙本着色額装	138.5×124.0	秋田県立近代美術館
74	谷口 深秋	姉妹	1932(昭和7)	紙本着色額装	146.0×152.5	秋田県立近代美術館
75	玉村方久斗	書斎(仮題)	1931(昭和6)頃	紙本着色額装	65.9×65.8	秋田県立近代美術館
76	玉村方久斗	玄関にて(仮題)	1931(昭和6)頃	紙本着色額装	66.0×66.0	秋田県立近代美術館
77	福田豊四郎	「氷点」挿絵原画	1964(昭和39)	紙・墨・鉛筆	15.8×24.2(No. 302)	秋田県立近代美術館
78	福田豊四郎	「あした来る人」挿絵原画	1954(昭和29)	紙・墨・鉛筆	14.5×19.3(No. 122、126)	秋田県立近代美術館
79	福田豊四郎	「チョップ先生」挿絵原画	1955(昭和30)	紙・墨・鉛筆	17.7×21.5(No. 10、128)	秋田県立近代美術館
80	福田豊四郎	「続氷点」挿絵原画	1970(昭和45)	紙・墨・鉛筆	16.3×24.3(No. 39)	秋田県立近代美術館
拾壱	昭和の洋服		昭和30年代			個人蔵
拾弐	昭和の洋服		昭和30年代			個人蔵
拾参	昭和の洋服(ウェディングドレス)		—			個人蔵

◇関連記事

日本歴史	10月号
あきたタウン情報	12月号
NHK新日曜美術館アートシーン	12/18
NHK総合テレビ情報パレット	12/22
あおぼ	12/22
読売新聞県南版 miniおらほ	12月年末号
地域創造レター	vol. 201(2012. 1/1)
新美術新聞	2012. 1/1・11号
秋田魁新報	2012. 1/5、1/26
横手市報	2012. 1/15
月刊アンドナウ	12月号、2012年1月号
take up!	2012年1月号
rakra	2012-1・2月号

v 赫い女●紺野五郎素描展

le Femine du Cramoisi ●

Exposition de Goro Konno, esquisse et tableau.

会期：2012(平成24)年2月18日(土)～4月15日(日)

主催：秋田県立近代美術館

担当：山本丈志

男鹿市出身で新制作協会を中心に活躍した洋画家紺野五郎の素描から、作風の変遷をたどる展覧会である。当館の収蔵品と遺族が所有する約400点を調査し、その際発見された「赫い女」の素描シリーズを中心に「キュビスムの洗礼」「赫い女」「画家の日常」「ポラーノ舎より」の4部構成で紹介した。調査対象となったすべての作品の画像をDVDにより会場で放映し、デジタルフォトフレームをコーナーキャプションに利用するなど展示空間の魅力ある演出を心がけた。教育者としての紺野五郎の業績に着目し、付帯事業として「美術館教室・デッサン」「みんなの教室・水彩画」を開催した。



第1展示室 キュビスムの洗礼

No.	題 名	制作年	技法・素材など	寸 法 (cm)	備 考
1	河畔	1950年代	紙・鉛筆、不透明水彩	27.0×38.8	
2	運河	1950年代	紙・鉛筆、水彩	27.0×39.5	
3	畑	1951(昭和26)	紙・墨	27.1×39.1	
4	ハマ	1952(昭和27)	紙・墨	27.1×38.3	
5	横浜風景	1952(昭和27)	紙・墨	27.0×38.4	
6	遊覧船	1950年代	紙・墨、鉛筆	27.2×38.3	
7	田園風景	1952(昭和27)年頃	紙・墨、水彩	27.0×39.1	
8	田園風景	1952(昭和27)年頃	紙・色鉛筆、透明水彩	27.2×38.5	
9	浅草 吾妻橋	1953(昭和28)	紙・インク、鉛筆	20.3×27.7	
10	アサヒビール	1953(昭和28)	紙・インク、鉛筆	20.3×27.7	
11	浅草夜景	1953(昭和28)	紙・インク、鉛筆	20.3×27.7	
12	リンゴ	1950(昭和25)	紙・墨	25.3×36.3	
13	リンゴと玉葱	1950(昭和25)	紙・墨	25.3×36.3	
14	柿	1951(昭和26)	紙・墨	27.4×38.4	
15	柿と栗	1951(昭和26)	紙・墨、水彩	27.2×37.9	
16	あけび	1951(昭和26)	紙・墨	27.0×39.1	
17	あけび	1951(昭和26)	紙・墨、透明水彩	27.3×39.1	
18	花	1951(昭和26)	紙・鉛筆	39.0×27.2	
19	コスモス	1951(昭和26)	紙・墨	39.1×27.0	
20	花	1951(昭和26)	紙・鉛筆	39.2×27.3	
21	ダリア	1951(昭和26)	紙・鉛筆	39.2×27.3	
22	葱と茄子とトマト	1952(昭和27)	紙・墨	27.0×39.1	
23	栗と柿	1952(昭和27)	紙・墨	27.2×38.0	
24	栗	1952(昭和27)	紙・墨	27.1×38.3	
25	リンゴとカボチャ	1954(昭和29)	紙・インク	27.0×38.0	
26	ミカン	1954(昭和29)	紙・墨	27.1×38.1	
27	柿	1954(昭和29)	紙・インク、鉛筆、色鉛筆	27.1×38.0	
28	静物	1951(昭和26)	紙・墨	27.1×39.1	

29	柿	1951(昭和26)年頃	紙・墨	27.4×38.7
30	花	1951(昭和26)年頃	紙・鉛筆、墨、透明水彩	39.2×27.2
31	花瓶	1954(昭和29)	紙・インク	38.1×27.1
32	リンゴと茄子と葡萄	1954(昭和29)年頃	紙・インク	27.1×38.6
33	カボチャと栗	1954(昭和29)年頃	紙・インク	27.0×38.0
34	X' massの思いでより	1959(昭和34)	紙・マジックインク	38.0×54.0
35	常識の弁證法的生成を 主張したかった男の像	1959(昭和34)	紙・マジックインク、パステル	54.0×38.0
36	思索の淵にて	1959(昭和34)	紙・マジックインク、パステル	54.1×38.0
37	現世的倦怠の中で	1960(昭和35)	紙・墨	54.2×38.2
38	富士遠望	1959(昭和34)	紙・マジックインク	54.0×38.1
39	雨の中のラッパ手 その 労働に対する報酬について	1959(昭和34)	紙・マジックインク	38.1×54.1

第2展示室 赫い女

No.	題 名	制作年	技法・素材など	寸 法 (cm)	備 考
40	裸婦	1951-52(昭和26-27)	紙・鉛筆	31.1×42.8	
41	裸婦	1951(昭和26)	紙・鉛筆	26.9×35.0	
42	裸婦	1952(昭和27)	紙・鉛筆	39.0×27.7	
43	裸婦	1952(昭和27)	紙・鉛筆	27.2×38.0	
44	裸婦	1952(昭和27)	紙・鉛筆	27.2×38.4	
45	裸婦	1953(昭和28)	紙・鉛筆	27.2×38.5	
46	裸婦	1953(昭和28)	紙・インク	27.2×38.3	
47	裸婦	1953(昭和28)	紙・鉛筆	38.4×27.2	
48	裸婦	1952(昭和27)年頃	紙・鉛筆	38.2×27.2	
49	裸婦	1954(昭和29)	紙・インク	27.2×38.2	
50	裸婦	1954(昭和29)	紙・インク	27.2×38.2	
51	三人の裸婦	1960年代	紙・パステル	54.2×38.0	
52	二人の裸婦	1960年代	紙・木炭	54.4×38.3	
53	二人の裸婦	1962(昭和37)	紙・マジックインク、墨、水彩	37.9×46.9	
54	裸婦	1962(昭和37)	紙・墨、水彩	47.2×37.8	
55	裸婦	1962(昭和37)年頃	紙・マジックインク、墨、水彩	47.0×38.0	
56	裸婦	1962(昭和37)年頃	紙・墨、水彩	47.0×38.0	
57	' 62-裸婦8	1962(昭和37)	紙・マジックインク、墨、水彩	46.9×37.9	
58	' 62-裸婦8	1962(昭和37)	キャンバス・油彩	130.3×97.0	1962第26回新制作協会展 新作家賞
59	' 62-裸婦8	1962(昭和37)	紙・墨、水彩	37.9×46.9	
60	裸婦	1963(昭和38)	紙・墨、不透明水彩	37.9×53.8	
61	裸婦	1963(昭和38)	紙・墨、不透明水彩	53.8×37.8	
62	裸婦	1963(昭和38)	紙・墨、不透明水彩	37.8×53.8	
63	裸婦	1963(昭和38)	紙・墨、不透明水彩	37.8×53.8	
64	裸婦	1963(昭和38)	紙・墨、不透明水彩	53.8×37.8	
65	裸婦	1963(昭和38)	紙・墨、不透明水彩	37.8×53.6	
66	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.9×32.1	
67	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.8×32.2	
68	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.9×32.2	
69	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.8×32.2	
70	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.8×32.1	
71	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.9×32.1	
72	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.8×32.1	
73	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.9×32.3	※赫い女
74	若い女	1965(昭和40)	キャンバス・油彩	162.1×130.3	1965第29回新制作協会展

75	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.8×32.1
76	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.8×32.2
77	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.8×32.1
78	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.8×31.9
79	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.8×32.1
80	裸婦	1963(昭和38)	紙・透明水彩	40.9×32.0

第3展示室 画家の日常

No.	題 名	制作年	技法・素材など	寸 法 (cm)	備 考
81	十三湖にて	1972(昭和47)	紙・鉛筆、サインペン	36.6×44.7	
82	十三湖 破船	1972(昭和47)	紙・コンテ	36.6×44.7	
83	小泊三角山展望台より	1972(昭和47)	紙・鉛筆	44.7×73.0	
84	10:00A.M.	1972(昭和47)	紙・鉛筆	36.6×44.7	
85	夕食	1972(昭和47)	紙・コンテ	36.6×44.7	
86	陸中田野畑にて	1973(昭和48)	紙・鉛筆、パステル	36.6×44.7	
87	陸中田野畑風景	1973(昭和48)	紙・鉛筆	36.6×44.7	
88	田沢湖駒草山より望む	1973(昭和48)	紙・鉛筆、パステル	36.6×44.7	
89	風景	1973(昭和48)	紙・透明水彩	28.8×37.4	
90	若い女のプロフィール	1976(昭和51)	紙・鉛筆、色鉛筆	44.7×36.6	
91	女性像	1976(昭和51)	紙・鉛筆、パステル	44.7×36.6	
92	女性像	1976(昭和51)	紙・鉛筆、パステル	44.7×36.6	
93	女性像	1976(昭和51)	紙・鉛筆、パステル	44.7×36.6	
94	女性像	1976(昭和51)	紙・鉛筆、パステル	44.7×36.6	
95	女性像	1976(昭和51)	紙・鉛筆、パステル	44.7×36.6	
96	女性像	1976(昭和51)	紙・鉛筆、パステル	44.7×36.6	
97	港湾風景	1976(昭和51)	紙・鉛筆、色鉛筆	36.6×44.7	
98	船室	1976(昭和51)	紙・鉛筆	36.6×44.7	
99	北洋漁船にて	1976(昭和51)	紙・鉛筆	36.6×44.7	
100	北洋漁船かえる	1976(昭和51)	紙・鉛筆	36.6×44.7	
101	水差し	1976(昭和51)	紙・鉛筆、透明水彩	38.0×27.1	
102	水差し	1977(昭和52)	紙・鉛筆、透明水彩	37.8×26.9	
103	水差し	1978(昭和53)	紙・鉛筆、透明水彩	38.0×27.0	
104	水差し	1980(昭和55)	紙・鉛筆、透明水彩	38.0×27.1	
105	夏みかん	1970-80年代	紙・鉛筆	25.6×35.7	
106	夏みかん	1970-80年代	紙・鉛筆、透明水彩	27.1×38.0	
107	夏みかん	1970-80年代	紙・鉛筆、透明水彩	27.0×38.1	
108	夏みかん	1970-80年代	紙・鉛筆、透明水彩	25.6×35.6	
109	海景	1970-80年代	紙・透明水彩	38.2×27.4	
110	海景	1970-80年代	紙・鉛筆、透明水彩	37.9×27.2	
111	海景	1970-80年代	紙・鉛筆、透明水彩	37.9×27.2	
112	海景	1970-80年代	紙・透明水彩	37.7×27.0	
113	絵本挿絵「種苗交換会と石川理紀之助」	1979(昭和54)年頃	紙・鉛筆、透明水彩	36.5×51.8	※「えほん風土記5 あきたけん(岩崎書店)」(2)
114	絵本挿絵「こまっているモデルのうそん」	1979(昭和54)年頃	紙・鉛筆、透明水彩	36.5×51.8	※「えほん風土記5 あきたけん(岩崎書店)」(3)
115	絵本挿絵「秋田の雪まつり」	1979(昭和54)年頃	紙・鉛筆、透明水彩、不透明水彩	36.5×51.8	※「えほん風土記5 あきたけん(岩崎書店)」(5)
116	絵本挿絵「男鹿のなまはげ」	1979(昭和54)年頃	紙・鉛筆、透明水彩	36.5×51.8	※「えほん風土記5 あきたけん(岩崎書店)」(7)
117	絵本挿絵「十和田湖と和井内貞行」	1979(昭和54)年頃	紙・鉛筆、透明水彩、不透明水彩	36.5×51.8	※「えほん風土記5 あきたけん(岩崎書店)」(11)
118	小さな帆	1977(昭和52)	紙・色鉛筆、不透明水彩	30.1×22.1	
119	秋田の四季	1980(昭和55)	紙・透明水彩、不透明水彩	48.9×36.5	
120	青い船	1981(昭和56)	紙・鉛筆、色鉛筆	39.4×27.5	
121	南東の風	1981(昭和56)	紙・鉛筆	37.7×27.0	
122	SAKANA	1981(昭和56)	紙・鉛筆	37.6×26.9	

123	上野駅	1980年代	紙(封筒)・青ボールペン	33.1×24.1
124	フキノトウ	1990(平成2)年頃	紙・鉛筆、透明水彩	23.0×17.8
125	フキノトウ	1990(平成2)年頃	紙・鉛筆、透明水彩	23.0×17.8
126	フキノトウ	1990(平成2)年頃	紙・鉛筆、インク、透明水彩	23.0×17.5
127	フキノトウ	1990(平成2)年頃	紙・鉛筆、透明水彩	23.0×17.7

第4展示室 ポラーノ舎より

No.	題 名	制作年	技法・素材など	寸 法 (cm)	備 考
128	浅草松屋	1953(昭和28)	紙・インク、鉛筆	20.3×27.7	
129	浅草松屋	1953(昭和28)年頃	紙・不透明水彩	27.1×38.2	
130	ビル無題	1953(昭和28)	キャンバス・油彩	130.3×162.1	※1953第17回新制作協会展
131	裸婦	1952(昭和27)	紙・墨	27.2×38.1	
132	裸婦	1952(昭和27)	紙・インク	27.2×38.2	
133	'54座る女 (A)	1954(昭和29)	キャンバス・油彩	130.3×97.0	※1954第18回新制作協会展
134	三裸婦	1963(昭和38)年頃	紙・透明水彩	46.2×37.8	
135	三裸婦	1963(昭和38)年頃	紙・透明水彩	46.7×37.8	
136	二人の裸婦	1964(昭和39)	紙・墨、水彩	53.7×37.9	
137	三裸婦立つ場合	1963(昭和38)	紙・透明水彩	37.8×46.6	
138	三裸婦立つ場合	1964(昭和39)	板・油彩	181.8×227.3	※1964第28回新制作協会展
139	ホオヅキと花と少女	1970(昭和45)年頃	紙・鉛筆、色鉛筆	26.0×19.1	
140	帽子のようなりボンの女	1970(昭和45)	紙・鉛筆、色鉛筆	26.1×19.2	
141	身元確認	1971(昭和46)	紙・ボールペン、マジックインク	27.1×33.4	
142	ミッチャンたちの見送り	1980(昭和55)	紙・鉛筆	47.8×36.5	
143	女たち	制作年不詳	紙・鉛筆、インク	33.5×25.5	
144	女性像	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆、墨	38.3×28.2	
145	女性像	制作年不詳	紙・鉛筆、墨	51.7×36.5	
146	留守家族―一日の終わり	1974(昭和49)年頃	ペーパーキャンバス・油彩	55.5×33.9	
147	留守家族―待ちぼうけ	1974(昭和49)	ペーパーキャンバス・油彩	52.1×33.9	
148	留守家族―待ちぼうけ	1975(昭和50)	キャンバス・油彩	193.9×130.3	1975第39回新制作協会展会員推奨
149	留守家族―発車時刻	1975(昭和50)	キャンバス・油彩	193.9×130.3	
150	留守家族―発車時刻	1974(昭和49)年頃	ペーパーキャンバス・油彩	52.0×34.0	
151	bye-bye	1980(昭和55)	紙・鉛筆、色鉛筆	51.8×36.5	
152	bye-bye	1981(昭和56)	キャンバス・油彩	162.1×130.3	1981第45回新制作協会展
153	若い人	1983(昭和58)	紙・鉛筆	52.0×36.5	
154	若い人	1983(昭和58)	キャンバス・油彩	162.0×130.0	1983第47回新制作協会展
155	車石	1969(昭和44)	紙・墨、不透明水彩	27.1×38.2	
156	車石	1969(昭和44)年頃	紙・墨、不透明水彩	26.8×37.9	
157	法輪をめぐる情景	1967(昭和42)	キャンバス・油彩	193.9×130.3	
158	いくつかの出会い	1982(昭和57)	紙・鉛筆	37.6×54.8	
159	いくつかの出会い	1982(昭和57)	キャンバス・油彩	162.1×260.6	1982第46回新制作協会展

◇関連記事

横手市報	2012.2/15、3/1
月刊アンドナウ	2012年2月号、3月号
秋田魁新報	2012.3/8
あきたタウン情報	2012年3月号
take up!	2012年3月号
rakra	2012-3・4月号
Hug-Motto	Vol.27(2012年3・4月号)

コレクション展

i A.R.A (アート・リポート・アキタ). 2011 第1期「日本画セレクション」

会期：2011(平成23)年4月13日(水)～7月11日(日)

第1展示室(6階)：日本画セレクションⅠ

第2展示室(6階)：日本画セレクションⅡ

第3展示室(6階)：油彩画セレクション

担当：木村雅洋

第1展示室 日本画セレクションⅠ

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	小杉 放菴	雀の御宿	—	紙本墨画淡彩軸装	39.0×43.0
2	鏑木 清方	秋の夜	1919(大正8)年	絹本着色軸装	140.3×50.7
3	川端 龍子	鶺鴒	1930(昭和5)年頃	絹本着色軸装	136.2×51.2
4	小川 芋銭	草汁翁作海坊主	—	紙本墨画軸装	径60.6
5	横山 大観	雲中富士	1915(大正4)年頃	紙本金地着色二曲一双	各169.0×178
6	下村 観山	三保富士	1919(大正8)年	絹本金地着色六曲一双	各167.0×370.0
7	川端 玉章	四時群花図	1877(明治10)年頃	絹本金地着色額装	43.1×68.3
8	石川大浪・石川孟高	ファン・ロイエン筆 花鳥図模写	1796(寛政8)年	紙本着色軸装	232.8×107.0
9	小田野直武	不忍池図	1770年代	絹本着色額装	98.5×132.5
※ 9.小田野直武「不忍池図」は4/13～5/29までの期間限定展示。5/30～7/11は「岩に牡丹図」に展示換え。					
9	小田野直武	岩に牡丹	1770年代	絹本着色額装	48.3×72.7
10	小田野直武	写生帖	1770年代	紙本着色墨画一冊	42.5×28.3
11	沈 南蘋	鶴	1738(元文3)年	絹本着色軸装対幅	各110.0×50.0

第2展示室 日本画セレクションⅡ

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
12	平福 穂庵	乞食図	1880(明治13)年	綿布墨画淡彩軸装	166.2×84.1
13	平福 穂庵	乳虎	1890(明治23)年	絹本墨画淡彩軸装	82.4×159.5
14	寺崎 廣業	墨堤之雪	1893(明治26)年	絹本着色軸装	65.6×110.4
15	寺崎 廣業	白馬山八題 (雪溪残月)	1917(大正6)年	紙本着色軸装	57.9×89.2
16	寺崎 廣業	白馬山八題 (緑陰溪湍)	1917(大正6)年	紙本着色軸装	57.9×89.2
17	寺崎 廣業	白馬山八題 (嶮峰群立)	1917(大正6)年	紙本着色軸装	57.9×89.2
18	寺崎 廣業	白馬山八題 (斜山緑翠)	1917(大正6)年	紙本着色軸装	57.9×89.2
19	寺崎 廣業	白馬山八題 (雪溪花苑)	1917(大正6)年	紙本着色軸装	57.9×89.2
20	寺崎 廣業	白馬山八題 (赭山残雪)	1917(大正6)年	紙本着色軸装	57.9×89.2
21	寺崎 廣業	白馬山八題 (雲海曙色)	1917(大正6)年	紙本着色軸装	57.9×89.2
22	寺崎 廣業	白馬山八題 (山頭団雲)	1917(大正6)年	紙本着色軸装	57.9×89.2
23	平福 百穂	菜圃	1920(大正9)年	絹本裏箔着色屏風二曲一双	各147.8×162.8
24	平福 百穂	春山	1933(昭和8)年	紙本墨画淡彩軸装	91.0×104.0
25	福田豊四郎	水辺の夏	1931(昭和6)年	絹本着色額装	245.0×175.5
26	福田豊四郎	草野	1933(昭和8)年	紙本着色二曲一隻	211.5×302.3
27	福田豊四郎	海濱	1936(昭和11)年	紙本着色額装	209.5×236.2

第3展示室 油彩画セレクション

No.	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
28	金沢秀之助	雪のポンヌッフ橋	—	キャンバス・油彩	24.1×33.2
29	小西正太郎	緑衣の女の肖像	1925(大正14)年	キャンバス・油彩	91.0×73.0
30	藤田 嗣治	オペラ座の夢	—	キャンバス・油彩	23.0×28.0
31	福沢 一郎	裸婦二人(仮題・寄託品)	—	キャンバス・油彩	72.4×52.8

32	新海 覚雄	裸婦(寄託品)	1926(大正15)年	キャンバス・油彩	80.0×65.0
33	田口 省吾	街の音楽	1931(昭和6)年	キャンバス・油彩	112.1×145.5
34	伊勢 正義	集ひ	1935(昭和10)年	キャンバス・油彩	180.0×301.0
35	岡田 謙三	高原	1939(昭和14)年	キャンバス・油彩	191.0×255.5
36	村上 善男	馬之字への津軽発信	2001(平成13)年	キャンバス・ミストメディア	97.5×162.5
37	馬場 彬	作品	1961(昭和36)年	キャンバス・油彩	130.5×162.0
38	石田 黙	白い静物	1974(昭和49)年	キャンバス・油彩	97.0×130.6

◇関連記事

秋田魁新報

6/2

ii A. R. A. 2011 第2期 「THE柴田安子 手のひらの桃源郷 shangri-La in her hands」

会期：2011(平成23)年7月13日(水)～10月10日(月)

第1展示室(6階)：THE柴田安子 昇華する知性 Sublime Intellect.

第2展示室(6階)：THE柴田安子 手のひらの桃源郷 Shangri-La in her hands.

THE柴田安子 囚われた心 Haunted by death.

第3展示室(6階)：画家の青春

担当：山本丈志

第1展示室 昇華する知性 Sublime Intellect.

No	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	備考
1	御物和漢朗詠集筆写	1926(大正15)	紙・墨	24.5×16.7	
2	元暦校本万葉集第1巻筆写	1927(昭和2)	紙・墨	25.0×20.0	
3	元暦校本万葉集第2巻筆写	1927(昭和2)頃	紙・墨	25.0×17.5	
4	ノート「バウハウス叢書(14) 材料から建築へ」から抜粋	作成年不詳	紙・ペン	25.7×18.2	
5	ノート「構図法(壁画)」	1944(昭和19)頃	紙・ペン、色鉛筆	25.8×18.2	
6	松方浮世絵版画模写図 「菱川師房 黒一色版画 吉田街道」	制作年不詳	紙・墨	40.2×28.2	
7	松方浮世絵版画模写図	制作年不詳	紙・墨	28.0×20.0	
8	松方浮世絵版画模写図	制作年不詳	紙・墨	28.0×20.0	
9	古画模写図	制作年不詳	紙・墨 4点	各14.3×35.8	
10	法然上人行状繪	制作年不詳	紙・墨 2点	32.9×18.1, 21.2×16.7	
11	役行者八大童子像模写	1928(昭和3)頃	紙本着色・額装	46.0×115.0	
12	素描・女性像	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	28.0×24.7	
13	素描・女性像	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	28.0×24.7	
14	素描・女性像	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	24.8×28.0	
15	高原の馬	制作年不詳	紙・鉛筆	8.4×20.1	
16	素描・飼い葉桶	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	24.7×28.0	
17	素描・農婦	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	24.7×28.0	
18	素描・農婦	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	24.7×28.0	
19	素描・農婦	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	24.8×28.0	
20	素描・農夫と農婦	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆、水彩	24.7×28.0	
21	画稿・農婦たち	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	24.8×28.0	
22	スケッチ・農婦	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆、水彩	24.8×28.0	
23	素描・農婦	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆、水彩	24.7×27.9	※「めらはど」画稿
24	わかれ	制作年不詳	色紙・紙本銀地着色	27.0×24.1	

25	帽	制作年不詳	色紙・紙本銀地着色	27.0×24.1
26	スケッチ・花	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆、水彩	37.8×28.7
27	スケッチ・スイバ	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	37.2×28.2
28	スケッチ・ヤマホタルブクロ	制作年不詳	紙・鉛筆、インク、色鉛筆	37.2×28.2
29	素描・クリンソウ	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	37.2×28.0
30	素描・オオウバユリ	制作年不詳	紙・鉛筆	36.4×26.0
31	素描・オオウバユリ	制作年不詳	紙・鉛筆	36.4×26.0
32	スケッチ・オオウバユリ	制作年不詳	紙・鉛筆、水彩	24.3×18.4
33	素描・フサスグリ	制作年不詳	紙・鉛筆、インク	28.1×23.0
34	素描・胡桃	制作年不詳	紙・鉛筆、インク	28.1×23.0
35	スケッチブックからⅠ 9点			
a.	模写・ルノアール「金髪の浴女」他	制作年不詳	紙・鉛筆、インク	36.7×26.4
b.	素描・鬼灯	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	26.3×36.7
c.	模写・婦人像(ルノアール)	制作年不詳	紙・鉛筆、水彩	26.4×36.7
d.	模写・ルノアール「身体を乾かす裸婦」	制作年不詳	紙・色鉛筆	36.7×26.4
e.	模写・婦人像(ルノアール)	制作年不詳	紙・インク	36.6×26.4
f.	模写・ルノアール「洗濯女」他	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	36.7×26.4
g.	模写・ルノアール 「スカート付の服を着て花飾りの帽子を被った女」	制作年不詳	紙・色鉛筆	36.7×26.4
h.	模写・ルノアール「ヴィーナス」	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	36.7×26.4
i.	模写・婦人像(ボナール?)	制作年不詳	紙・色鉛筆、水彩	36.7×26.4
36	スケッチブックからⅡ 8点			
a.	素描・子猫	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	26.5×37.0
b.	素描・子猫	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆	26.5×37.0
c.	素描・子猫	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	53.0×37.0
d.	素描・子猫	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	26.5×37.0
e.	素描・子猫	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	26.5×37.0
f.	素描・子猫	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	26.5×37.0
g.	素描・子猫	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	26.5×37.0
h.	素描・子猫	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	26.5×37.0
37	スケッチブックからⅢ 13点			
a.	素描・少女	1946(昭和21)頃	紙・色鉛筆	37.1×28.1
b.	素描・少女	1946(昭和21)頃	紙・色鉛筆	37.1×28.1
c.	素描・少女	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	37.2×28.0
d.	素描・少女	1946(昭和21)頃	紙・色鉛筆	24.3×18.5
e.	素描・裸婦	制作年不詳	紙・色鉛筆	26.7×17.9
f.	素描・女性頭部	制作年不詳	紙・鉛筆	24.3×18.5
g.	素描・女性頭部	制作年不詳	紙・鉛筆	24.3×18.5
h.	素描・女性頭部	制作年不詳	紙・鉛筆	24.3×18.5
i.	模写・裸婦像	制作年不詳	紙・鉛筆	23.3×32.1
j.	模写・裸婦像	制作年不詳	紙・鉛筆	23.4×32.0
k.	模写・裸婦像	制作年不詳	紙・鉛筆	23.4×32.1
l.	模写・裸婦像	制作年不詳	紙・鉛筆	23.3×32.0
m.	模写・裸婦像	制作年不詳	紙・鉛筆	23.3×32.0
38	スケッチブックからⅣ 17点			
a.	素描・山	1935(昭和10)	紙・コンテ	17.4×24.6
b.	素描・山	1935(昭和10)	紙・コンテ	17.3×24.6
c.	素描「日光明智平」	1935(昭和10)	紙・鉛筆、コンテ	17.2×24.6
d.	素描「菅平須坂口」	1935(昭和10)	紙・鉛筆	17.4×24.6
e.	素描「菅平」	1935(昭和10)	紙・鉛筆	17.3×24.5
f.	素描「菅平」	1935(昭和10)	紙・鉛筆	17.3×24.6

g. 素描「北軽井沢」	1935(昭和10)	紙・鉛筆	17.3×24.6
h. スケッチ「菅平」	1936(昭和11)	紙・鉛筆、水彩	18.6×24.6
i. スケッチ「ダヴオス」	1936(昭和11)	紙・鉛筆、水彩	17.2×24.6
j. 高原のヒュッテ	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆	22.6×27.9
k. 素描・高原	1936(昭和11)頃	紙・鉛筆	17.3×24.6
l. 素描・木立	1936(昭和11)頃	紙・鉛筆	17.4×24.6
m. 素描「寒風山」	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	24.7×28.0
n. 素描・男鹿半島	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	24.8×28.0
o. 素描・男鹿半島	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆、コンテ	24.7×28.0
p. 山脈	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆、インク、色鉛筆	22.9×27.9
q. スケッチ「駒ヶ嶽山麓」	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆、水彩	24.8×56.0
39 スケッチブックから V 16点			
a. 模写・ピカソ「座像」	制作年不詳	紙・鉛筆	28.1×24.2
b. 素描・婦人像	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆	37.0×26.5
c. 模写・エルンスト「風の婚約者」	制作年不詳	紙・鉛筆、墨	20.5×24.8
d. 模写・ソドマ 「アレクサンダー大王とロクサーヌの結婚」	制作年不詳	紙・鉛筆	24.2×28.1
e. 模写・コロー「ラ・メランコリー」他	制作年不詳	紙・鉛筆	24.2×28.1
f. 模写・エルンスト「愛のカルマニョール」	制作年不詳	紙・鉛筆、墨	30.8×18.8
g. 模写・題不明	制作年不詳	紙・鉛筆、墨	13.3×10.0
h. 模写・ルソー「虎と水牛の戦い」	制作年不詳	紙・鉛筆	24.2×28.0
i. 模写・エジプト風俗	制作年不詳	紙・鉛筆、墨	24.2×28.1
j. 模写・エジプト風俗、パピルス	制作年不詳	紙・鉛筆、墨	24.2×28.0
k. 素描・牛	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆、墨	28.0×37.2
l. 模写・エルンスト「西へ行進する野蛮人たち」	制作年不詳	紙・鉛筆、インク	14.7×20.9
m. 素描・梟	1935(昭和10)頃	紙・鉛筆	24.8×28.1
n. 模写・母子像	制作年不詳	紙・鉛筆、墨	24.2×28.1
o. 模写・樹(エルンスト?)	制作年不詳	紙・鉛筆	25.2×18.6
p. エスキース・婦人像	制作年不詳	紙・鉛筆	21.6×18.6
40 模写・テニス(カンピリ?)	制作年不詳	紙・鉛筆、インク、色鉛筆	28.1×24.2
41 模写・カンピリ「バルコニーで」	制作年不詳	紙・鉛筆、墨	28.1×24.2
42 模写・カンピリ「ジプシー」	制作年不詳	紙・鉛筆	28.1×24.2
43 習作・馬	制作年不詳	紙・鉛筆、インク	26.3×36.7
44 画稿・馬	制作年不詳	紙・インク	26.4×36.7

第2展示室 手のひらの桃源郷 Shangri-La in her hands.

No	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	備考
45	スケッチ・田植Ⅰ	制作年不詳	紙・鉛筆	30.0×42.1	
46	スケッチ・田植Ⅱ	制作年不詳	紙・鉛筆	30.0×42.1	
47	スケッチ・田植Ⅲ	制作年不詳	紙・鉛筆	30.0×42.1	
48	スケッチ・高原	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆、水彩	28.0×37.3	
49	スケッチ・高原	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩、インク	37.3×28.1	
50	スケッチ・高原	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	37.3×28.0	
51	スケッチ・高原、赤百舌	1946(昭和21)	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	37.3×28.0	
52	スケッチ・高原	制作年不詳	紙・インク	30.1×42.1	
53	スケッチ・長芋	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆 クレヨン	21.6×29.7	
54	スケッチ・積み藁と長芋	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆 クレヨン	20.8×29.7	
55	スケッチ・秋の田園Ⅰ	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	21.5×29.7	
56	スケッチ・秋の田園Ⅱ	制作年不詳	紙・鉛筆、水彩	29.6×21.5	
57	スケッチ・秋の田園Ⅲ	制作年不詳	紙・鉛筆、水彩	29.7×21.5	
58	スケッチ・秋の田園Ⅳ	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	29.8×21.5	

59 スケッチブックからVI「高原」 23点

a. 画稿・植物	制作年不詳	紙・水彩	37.1×28.2
b. 素描・高原	制作年不詳	紙・インク	37.2×28.1
c. 画稿・溪流	制作年不詳	紙・鉛筆	37.1×28.1
d. 画稿・高原	制作年不詳	紙・インク	37.2×28.1
e. 素描・高原	制作年不詳	紙・鉛筆	37.1×28.1
f. 素描・柏、代掻き	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆	28.1×37.3
g. 素描・アツモリソウ	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆、墨	37.3×28.0
h. 素描・アツモリソウ	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩、墨	37.3×28.0
i. 素描・がまずみ	1946(昭和21)頃	紙・墨	37.2×28.0
j. 素描・高原	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆	37.1×28.0
k. 素描・高原	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆	37.2×28.1
l. 素描・牧婦	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆	37.2×28.1
m. 素描・植物	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆	28.0×37.3
n. 素描・高原	制作年不詳	紙・鉛筆、インク	26.0×36.4
o. 画稿・高原	制作年不詳	紙・鉛筆	26.0×36.5
p. 素描・薪	制作年不詳	紙・鉛筆	26.0×36.4
q. 素描・飛行場	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	26.0×36.5
r. スケッチ・高原冬景	1943(昭和18)頃	紙・鉛筆、色鉛筆	23.0×28.0
s. スケッチ・高原冬景	1943(昭和18)	紙・鉛筆、色鉛筆、水彩	28.0×23.0
t. 画稿・高原	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	28.0×23.0
u. 画稿・湖沼	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	28.1×23.0
v. 素描・高原	1946(昭和21)頃	紙・鉛筆	28.1×37.2
w. 素描・湖風景	制作年不詳	紙・鉛筆	24.3×28.1

60 スケッチブックからVII「田園、溪流、林」 26点

a. 素描・農婦	制作年不詳	紙・鉛筆	42.2×30.1
b. 素描・農婦	制作年不詳	紙・鉛筆	46.1×35.1
c. 素描・農婦	制作年不詳	紙・鉛筆	42.1×30.0
d. 素描・農婦	制作年不詳	紙・色鉛筆	29.7×21.5
e. 素描・粃摺り機	制作年不詳	紙・鉛筆	29.8×20.7
f. 素描・脱穀	制作年不詳	紙・鉛筆	20.9×29.8
g. 素描・脱穀	制作年不詳	紙・鉛筆	20.9×29.7
h. 画稿・収穫	制作年不詳	紙・鉛筆	21.2×30.5
i. 素描・収穫	制作年不詳	紙・鉛筆	20.8×29.8
j. 素描・箕をもつ農婦	制作年不詳	紙・鉛筆	20.7×29.8
k. 素描・収穫	制作年不詳	紙・鉛筆	20.8×29.8
l. 素描・収穫	制作年不詳	紙・鉛筆	20.8×29.8
m. 素描・脱穀	制作年不詳	紙・鉛筆	20.8×29.8
n. 素描・溪流	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	36.4×26.0
o. 素描・森	制作年不詳	紙・鉛筆	36.5×26.0
p. 素描・溪流	制作年不詳	紙・鉛筆	36.5×26.0
q. 素描・溪流	制作年不詳	紙・鉛筆	36.5×26.0
r. スケッチ・溪流	制作年不詳	紙・鉛筆	26.0×36.4
s. スケッチ・溪流	制作年不詳	紙・鉛筆	26.0×36.5
t. 画稿・樹	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	23.0×28.1
u. 画稿・樹	制作年不詳	紙・鉛筆	28.1×23.0
v. 画稿・切り株	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	28.0×23.0
w. 画稿・樹と石	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	23.0×28.1
x. 画稿・切り株	制作年不詳	紙・鉛筆	23.0×28.0
y. 画稿・樹	制作年不詳	紙・鉛筆	28.0×23.0
z. 画稿・切り株	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	28.0×24.3

囚われた心 Haunted by death.

No	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	備考
61	花鳥	制作年不詳	絹本着色・軸装	46.5×51.1	秋田県立近代美術館寄託
62	素描・兵士	制作年不詳	紙・鉛筆	36.7×26.4	
63	素描・兵士	制作年不詳	紙・鉛筆	36.7×26.4	
64	素描・兵馬	制作年不詳	紙・鉛筆	36.7×26.4	
65	素描・兵士	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	36.7×26.4	
66	素描・兵士	制作年不詳	紙・鉛筆、色鉛筆	36.7×26.4	
67	スケッチ・公園	制作年不詳	紙・鉛筆	23.0×28.1	
68	スケッチ・ブランコ	制作年不詳	紙・鉛筆	28.1×23.0	
69	スケッチ・子どもたち	制作年不詳	紙・鉛筆	28.1×23.0	
70	スケッチ・公園	制作年不詳	紙・鉛筆	23.0×28.0	
71	髑髏	1947(昭和22)	紙・鉛筆	42.0×30.1	

第3展示室 画家の青春

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	備考
1	寺崎 廣業	不忍池畔之夜景	1894(明治27)	絹本着色・軸装	49.1×67.8	28歳
2	加藤 雪窓	知音	1897(明治30)	絹本着色・軸装	145.0×71.0	25歳 1897第3回日本絵画協会展
3	福田豊四郎	鶏とほうき草	1923(大正12)	紙本着色・額装	92.3107.3	18歳
4	小田野直武	富嶽図	1770年代(安永年間)	絹本着色・軸装	43.5×77.0	20代後半
5	平福 百穂	武尊誅梟帥図	1894(明治27)	紙本墨画淡彩・軸装	113.4×216.3	16歳 光台寺蔵(盛岡市)・寄託品、1894日本青年絵画協会第3回絵画共進会
6	平福 穂庵	秋田風俗十二景屏風	1858(安政5)	紙本着色・六曲一雙屏風	各157.2×368.4	14歳
7	柴田 春光	狭布の里	1928(昭和3)	絹本着色・二曲一雙屏風	160.4×226.8	27歳 1928第9回帝展
8	小西正太郎	婦人像	1897(明治30)頃	油彩・キャンバス	33.0×24.0	20代前半
9	奈良清四郎	裸婦	1930(昭和5)	油彩・キャンバス	61.0×50.0	20歳
10	濱松小源太	作品	1930年代	油彩・キャンバス	60.6×80.3	20代後半
11	高橋 功	自画像	1978(昭和53)	油彩・紙	70.0×50.0	27歳
12	佐藤 義雄	自画像	1935(昭和10)頃	油彩・キャンバス	41.0×31.8	20歳頃

◇関連記事

あきたタウン情報 8月号
河北新報 9/4

iii A. R. A 2011 第Ⅲ期「日本画の風景」

会期：2011(平成23)年10月14日(金)～2012(平成24)年1月9日(月)

第1展示室(6階) 大いなる自然(日本画)
第2展示室(6階) 内なる自然(日本画)
第3展示室(6階) 名作セレクション(日本画)
担当：田村稔

第1展示室 大いなる自然

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
1	櫻庭藤二郎	山河	1983(昭和58)年	紙本着色額装	208.8×164.3
2	櫻庭藤二郎	雪中十和田	1971(昭和46)年	紙本着色額装	167.3×211.2
3	櫻庭藤二郎	北海	1964(昭和39)年	紙本着色額装	176.0×212.2

4	櫻庭藤二郎	山湖早春	1984(昭和59)年	紙本着色額装	165.2×209.5
5	櫻庭藤二郎	山湖	1965(昭和40)年	紙本着色額装	169.0×216.0
6	堀川達三郎	暮彩	1987(昭和62)年	キャンバス着色額装	175.1×221.0
7	堀川達三郎	杜	1963(昭和38)年	紙本着色額装	181.8×227.3
8	小泉 淳作	春を待つ鳥海山	1995(平成7)年	紙本墨画淡彩額装	155.0×271.0
9	信太 金昌	源流	1959(昭和34)年	紙本着色額装	162.1×130.3
10	信太 金昌	冬裡宿秋	1920(大正9)年	紙本着色額装	162.1×227.3
11	後藤 純男	秋田駒ヶ岳	1997(平成9)年	紙本着色額装	90.5×205.5

第2展示室 内なる自然

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
12	平福 百穂	老松	1916(大正5)年	紙本墨画二曲一双	180.2×162.7
13	平福 百穂	富獄暁靄	—	絹本着色軸装	145.5×50.0
14	平福 百穂	梅月相思	1932(昭和7)年	絹本着色対幅	各137.0×36.0
15	平福 百穂	富獄図	1925(大正14)年	紙本墨画淡彩軸装	255.5×139.8
16	平福 穂庵	嵐山	1870(明治3)年	紙本着色六面	各167.6×82.1
17	寺崎 廣業	山谷冬里図	1917(大正6)年	紙本墨画六曲一双	各151.5×352.0
18	寺崎 廣業	谿間の雪	—	絹本墨画軸装	175.7× 72.7
19	寺崎 廣業	白馬雪溪	1917(大正6)年	絹本墨画軸装	184.8× 86.4
20	寺崎 廣業	初冬山水	1903(明治36)年	紙本淡彩軸装	47.0× 65.0
21	寺澤孝太郎	松林	1931(昭和6)年	紙本墨画二曲一隻	168.0×182.0

第3展示室 名作セレクション

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)
22	長山 孔寅	孔雀図	1817(文化14)年	紙本着色軸装	156.0× 86.0
23	戸村後草園	花鳥	1827(文政10)年	紙本墨画淡彩軸装	121.0× 46.8
24	佐々木原善	菊花に螭螂・牡丹に蝶	—	絹本着色対幅	各108.5×28.5
25	小田野直武	唐太宗・花鳥山水	—	絹本着色三幅対	各122.0×44.5
26	田代忠国・佐竹義躬	紅毛玻璃器図	1770年代	絹本着色軸装	37.0×53.0
27	福田豊四郎	雪のきた国	1925(大正14)年	紙本着色軸装	71.8×120.9
28	福田豊四郎	雪国	1968(昭和43)年	紙本着色四曲一隻	168.7×255.6
29	酒井 三良	残照	1923(大正12)年	絹本着色軸装	136.0×112.0
30	小松 均	春の最上川	1974(昭和49)年	紙本墨画淡彩二面	各94.0×368.0

◇関連記事

あおぼ	10/28
秋田魁新報	11/10、11/24
雪国新聞	11/11
北羽新報	11/25
take up!	12月号

iv A.R.A 2011 第Ⅳ期 所蔵彫刻名作選「見いだされたフォルム」

会期：2012(平成24)年1月20日(金)～4月8日(日)

第1展示室（6階）「見いだされたフォルム」 1（彫刻）

第2展示室（6階）「見いだされたフォルム」 2（彫刻）

第3展示室（6階）日本画名作選（日本画）

担当：沼田仁

第1展示室 彫刻名作選 「見いだされたフォルム」

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	備考
1	ザッキン・オシップ	ポルクス	1953(昭和28)	ブロンズ	100.0×29.0×21.0	edno. 7/8
2	ザッキン・オシップ	カストール	1953(昭和28)	ブロンズ	99.0×31.0×29.0	edno. 4/8
3	柳原 義達	犬の唄	1961(昭和36)	ブロンズ	153.3×62.0×62.0	1961第6回日本国際美術展・ 第25回新制作協会展
4	桜井 祐一	あるポーズ(六)	1967(昭和42)	ブロンズ	85.0×63.0×90.0	1967第9回日本国際美術展・ 第2回現代日本彫刻展
5	高田 博厚	カテドラル	1937(昭和12)	石(白セメント)	54.0×32.0×30.0	1938第1回パリ日本美術家協会展

第2展示室 彫刻名作選 「見いだされたフォルム」

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	備考
6	一色 邦彦	津舞 I	1965(昭和40)	ブロンズ	77.0×63.0×35.0	1966第29回新制作展・ 第9回高村光太郎賞
7	峯田 敏郎	記念撮影一瞬一	2000(平成12)	木(樟)・着彩	170.0×45.0×80.0	2000第74回国画会展
8	細川 宗英	道元	1972(昭和47)	ブロンズ	180.0×55.0×55.0	1972第36回新制作展・ 第3回中原悌二郎賞優秀賞
9	朝倉 響子	チナ	1993(平成5)	ブロンズ	51.0×18.0×18.0	
10	松田 芳雄	手	2001(平成13)	ブロンズ・着色	170.0×64.0×48.0	2001第31回日彫展・ 「美を刻む-秋田の彫刻家たち-」展
11	雨宮 敬子	生成	1983(昭和58)	ブロンズ	h75	1983第14回中原悌二郎賞優秀賞

第3展示室 日本画名作選

No	作家名	作品名	制作年	素材など	寸法 (cm)	備考
1	小田野直武	雷魚図	1770年代(安永年間)	紙本着色軸装	25.0×28.5	
2	小田野直武	芍薬花籠図	—	絹本着色軸装	94.5×21.0	
3	平福 穂庵	緑蔭清談	1886(明治19)	紙本墨画淡彩軸装	150.0×79.2	
4	寺崎 廣業	杜甫	—	絹本着色軸装	210.8×100.7	
5	平福 百穂	古柏栗鼠	—	絹本着色軸装	135.5×45.0	
6	平福 百穂	寒竹双鶴	1927(昭和2)	絹本金地着色屏風(6曲1双)	各166.2×362.2	
7	川端 龍子	松鯉図	—	絹本着色額装	60.0×73.0	
8	福田豊四郎	鶏小屋	1923(大正12)	紙本着色額装	62.5×105.5	1923第4回中央美術社展
9	福田豊四郎	山菜売る人達	1932(昭和7)	紙本着色屏風(6曲1隻)	168.0×381.6	1932第4回青龍展

教育普及事業

美術に対する理解を深めることができ、誰でもが気軽に利用できる親しみやすい美術館を目指して、講演会、美術館教室、美術館講座などを開催している。また、美術館事業に関する広報活動を行うとともに、ハイビジョンギャラリーでの郷土作家を扱った美術番組等の上映、美術館関係図書資料の提供や県内の美術情報の提供など、美術情報センターとしての役割を果たす多面的な活動を行っている。さらに、「あきたセカンドスクール」の一環として、美術館における学校の学習活動を行っている。なお、来館が困難な地域の学校を会場とした「出前美術館」や県立図書館での「ネットワーク事業」も行っている。このほか、親子で楽しく過ごせるキッズルームの開設や、団体鑑賞者に対する作品解説、美術館ボランティアによる美術館案内も実施している。

No.	教室の種別・内容	期日	対象・定員	講師	日数	参加者数	担当
1	ワークショップ 「デジタルカメラで撮る 昆虫と自然」	6月26日(日)	中学生以上一般 20名	小檜山賢治二氏 (慶應大学名誉 教授)	1日	19人	沼田、田村
2	みんなの教室Ⅰ 「石でムシをつくろう」	7月3日(日)	小学生以上一般 15名	佐藤正和重孝氏 (彫刻家)	1日	15人	沼田、田村
3	みんなの教室Ⅱ 「木のクラフト」	7月30日(土) 7月31日(日)	小学生以上一般 15名	当館学芸員	1日 (2回)	15人 10人	山本、田村
4	美術館教室Ⅰ 油彩画 「リアルが魅力の油彩画 技法！」	8月7日(日) 8月21日(日) 8月28日(日)	中学生以上一般 15名	渋谷重弘氏 (秋田公立美術工 芸短期大学教授)	3日	15人	沼田、木村
5	美術館教室Ⅱ 彫刻 「テラコッタでつくろう！」	9月25日(日) 10月16日(日)	中学生以上一般 12名	皆川嘉博氏 (秋田公立美術工芸 短期大学准教授)	2日	12人	田村、木村
6	美術館教室Ⅲ 日本画 「はじめての日本画Ⅴ ～秋の実を描く～」	11月6日(日)	中学生以上一般 15名	当館学芸員	1日	15人	檜尾、山本 木村
7	みんなの教室Ⅲ 「グリーティング・カード をつくろう」	12月18日(日)	小学生とその保護 者15組(30人程度)	当館学芸員	1日	1組4人	木村、檜尾
8	美術館教室Ⅳ デッサン	2月26日(日)	中学生以上一般 16名	当館学芸員	半日 午後	27人	山本、田村
9	みんなの教室Ⅳ 水彩画	3月4日(日)	中学生以上一般 16名	当館学芸員	半日 午後	18人	山本、沼田

美術館教室・ワークショップ

1. ワークショップ「デジタルカメラで撮る昆虫と自然」

慶応大学名誉教授の小檜山賢二氏をお迎えし、昆虫を被写体にした写真撮影に挑戦した。開催中の特別展「アートでむしむしとびきりコラボ大作戦！」で展示のゾウムシ写真の制作者である小檜山氏は、チョウの生態写真集を出版している。プレゼンテーションでは、日本各地に足を運びチョウを撮影した体験をお聞きした。

いよいよ本番、野外に向かったものの雨が本格的に降り出し、やむなく実習室に場所を移してセッティングした植物と昆虫で撮影開始。アザミの花にとまるアゲハチョウ(標本)や、イタドリの枝につかまるゾウムシは不意に動いたりすることなくシャッターチャンスが思いのままだった。午後から展示写真を小檜山氏による解説で鑑賞、講評会では一点一点について撮影のポイントを聞くことができた。



(デジタルカメラで撮る昆虫と自然)

2. みんなの教室Ⅰ「石でムシをつくろう」

特別展「アートでむしむしとびきりコラボ大作戦！」に甲虫の石彫を出品した佐藤正和重孝氏を講師にお迎えした教室。参加者は5階展示室に移動、作品を囲んでのアーティスト・トークから教室が始まった。参加者のほとんどが小学生とあって、あこがれの大きなカブトムシやクワガタムシをモチーフに古代神話の出土品として造られた石やブロンズの彫刻には興味津々だった。佐藤氏の計らいもあり、借用の甲虫標本と作品、その両方を見比べることができた。また、実際に道具として使ったタガネやハンマー、材料の石片までご持参いただいたの解説は、コツ、コツと地道に石の中から形を掘り出す制作現場を知るまたとない機会となったようである。軟石という材料に加え、道具の彫刻刀もはじめての体験という児童もいたが、佐藤氏持参の小品をお手本に指導してもらい皆さん根気強く取り組み完成にこぎ着けた。



(石でムシをつくろう)

3. みんなの教室Ⅱ「木のクラフト」

素材の特徴をいかしたクラフト教室は「みんなでつくる!によきにょ木」と題して、テーブルの上を飾る小さなオブジェ「木」を作った。釘や接着剤は極力使用せず、ただ単に木工作をするのではなく、自然木の風合い、色、量感を利用することに重点を置いた。起伏ある丘をイメージした台に幹を立てたが、幹には庭木の剪定で出た枝や昨年の雪害で折れた桜などを使った。硬い木材は色や年輪が美しいが、糸鋸での切り出しに苦労が見られた。それでも紙ヤスリで磨かれ、美しい木目が浮き出ると皆満足そうで、愛着のわく、すばらしい作品ができたのではないだろうか。最後に作品を持ち寄りテーブルに並べて、小さな小さな森を作り、記念写真とした。



(木のクラフト)

4. 美術館教室Ⅰ 油彩画「リアルが魅力の油彩画技法！」

秋田公立美術工芸短期大学教授の渋谷重弘先生を講師にお招きした教室である。今回は金属とガラスの2種類の材質にモチーフを絞り、参加者には単純な形の器や皿などそれぞれ一つずつ持参してもらった。回りの様子が映りこむ金属や、奥が透けて見えるガラスは渋谷先生の得意とするモチーフである。

まず、持参の静物画と同一モチーフ一式を見比べてみた。ガラスを描くコツには特別なやり方があると思っていたが、「本体を描かないことにある」とのお話に参加一同驚いた次第である。早速、自分が選んだ1色でモチーフをよく観察しながら一筆一筆描き進める。単色で描き終わると樹脂を溶き油に加え、鮮やかな色や光り輝く部分は最後に描き加えていった。渋谷先生の指導の甲斐あって、参加の方々は質感の表現に手応えを得たようで講評会には達成感をもって参加していた。



(リアルが魅力の油彩画技法！)

5. 美術館教室Ⅱ 彫刻「テラコッタでつくろう！」

彫刻の本格的な素材に触れ、講師から直接技法指導を受けることができる「彫刻教室」である。昨年度に続き、彫刻家で秋田公立美術工芸短期大学准教授の皆川嘉博先生に講師をお願いした。イスに座っている人物を制作する内容で、実際のモデルを見ながら制作する瞬間は、どの参加者も真剣で集中しており、皆川先生の柔和なアドバイスの言葉が聞こえる中で、適度な緊張感と充実感の中で至極の時間を味わっているという様子であった。作品は2週間ほど乾燥させ、ふるさと村工芸館の窯で焼成してもらい、2回目の教室で着色し完成。最後に着色後作品が乾燥するまでの間、皆川先生の野焼き作りのスライドを鑑賞し、彫刻の世界を更に広げていただいた。今回も参加者にとって満足度の高い内容だったと思う。



(テラコッタでつくろう！)

6. 美術館教室Ⅲ はじめての日本画Ⅴ「～秋の実を描く～」

この教室は今年度で5回目となる。今回はテーマを「秋の実」とし、参加者に持参してもらった秋の実（柿、南瓜、栗など）を描いた。パネルは0号サイズのベニヤ板を使用し、アクリル絵の具とマットメディウム、方解末を使って地塗りをした。地塗りができた所で箔を貼り、その上に秋の実を写し取り、岩絵の具とマットメディウムで仕上げた。今回は初めて箔を使用した、見た目の美しさとは違って取扱いの難しい箔貼りに難儀した人もいた。また、岩絵の具はアクリル絵の具のような混色はできないため、仕上げの段階でイメージ通りにならずに悩む人が多い。参加者のペースは様々だが、最後の仕上げの時間がたくさん取れるように時間配分や内容を検討していきたい。「はじめての日本画」教室には2回以上参加している人



(はじめての日本画)

が半数近くおり、日本画への関心は高いと感じる。参加者からは「1日の実施だと気軽に参加できる」「もう少しじっくりやりたいので二日開催にしてほしい」などの様々な声があるので、開催日数についても検討していきたい。

7. みんなの教室Ⅲ「グリーティング・カードをつくろう」

近年開催を続けてきたクリスマスを題材にした親子向けの教室であるが、去年までの木を素材にしたオーナメント作りから趣を変えて、様々な紙を使いグリーティング・カードを作るという内容となった。質感の違う紙を準備したり、児童が作りやすいような仕上がりや作り方を検討してみたが、募集期間が長かったにも関わらず参加者には恵まれなかった。

制作に使用する素材の魅力的な生かし方、児童の興味をかき立てるテーマの設定、開催時期の検討など、多くの課題が浮き彫りになったので、今後の教室の実施については的確なマーケティングが必要不可欠であると痛感した。



(グリーティング・カードをつくろう)

8. 美術館教室Ⅳ デッサン

紺野五郎素描展に因み、紺野が晩年取り組んだ水性色鉛筆を使用して静物デッサンに挑戦した。基礎的な絵画の教室は希望者が多く、募集と同時に定員に達し、急きょ定員を増やして対応する。モチーフはリンゴ、カボチャ、ミカンなど丸く、表面に特徴あるものを選択した。鉛筆(HB)で輪郭をとり、目安程度に陰影を描き加える。そして、色鉛筆で彩色する。水性色鉛筆は軟質で色がのりやすい。想像以上に発色がよく、美しい静物画ができあがっていった。中高生の参加者は美術と関わる仕事がしたいから、絵が上手になりたいと教室に参加したという。各学校の事情も反映されているようだ。今回初めて、午前を自由参加の「ウォーミングアップ教室」として解放したが、参加者の半分の方々が早々に集まり、デッサンに取り組んだ。休日の開催で、終日の講座だと参加をあきらめることもあるだろうから、要望に応じて今後



(デッサン教室)

9. みんなの教室Ⅳ 水彩画

みんなの教室も紺野五郎素描展に因み、紺野が秋田大学で指導した透明水彩絵の具の描画法で静物画を描いた。紺野は絵の具を重ねて塗る方法を「重色」と呼んでいる。今回はこの方法を体験するために、厚手の水彩用画用紙に、十分な水で溶いた絵の具をていねいに塗ることを重点に指導した。最初はやはり絵の具の濃度がわからず、どろりとした絵の具を盛りあげてしまう方がいた。結局の所、水彩絵の具の使用法など教わる機会はこれまでなかったという。こうした現状をふまえば、今後も水彩画の教室といわず、基礎的な絵画、美術の講座は開催していくべきかも知れない。

もちろん、水彩画の教室も午前中「ウォーミングアップ教室」を開催した。こちらは半分以上の方々が参加し、基礎的な水彩画の技法を学んだ。呼び物は「空」を描くもの。美しい青空を描くだけのことだか、一筆一筆に一喜一憂しながら小さな風景画を描いてもらい、水彩画の楽しさを味わっていただいた。



(水彩画教室)

ミュージアムコンサート

①フルート・ソプラノコンサート

日 時：2011年9月18日(日) 1回目…午後1時半～午後2時10分
2回目…午後3時～午後3時40分

場 所：秋田県立近代美術館 5階中央ホール

出 演：小野安広氏・佐々木華氏(Flute)、小野真弓氏(Soprano)、
大谷祥子氏(Piano)

観覧者数：201人

演奏曲目：フルート独奏：小野安広

G. U. Fauré作曲／コンクール用小品、シチリアーノ

ソプラノ独唱：小野真弓

三木露風作詞、山田耕筰作曲／赤とんぼ

竹久夢二作詞、小松耕輔作曲／母

林古溪作詞、成田為三作曲／浜辺の歌

フルート独奏：佐々木華

W. A. Mozart作曲／アンダンテ

フルート独奏：小野安広

C. L. S. Chaminade作曲／星のセレナーデ

ソプラノ独唱：小野真弓

N. Washington作詞、L. Harline作曲／星に願いを

スコットランド古謡／アメイジング・グレイス

フルート二重奏：小野安広・佐々木華

E. Kohler作曲／花のワルツ

ソプラノ独唱：小野真弓

V. Bellini作曲／

歌劇「カプレーティ家とモンテッキ家」より～ジュリエッタのアリア～



(フルート・ソプラノコンサート)

②ジャズコンサート・ハイチに祈りを捧げて

日 時：2011年10月 9 日(日) 午後1時半～午後2時10分

場 所：秋田県立近代美術館 5 階中央ホール

出 演：布施通氏(Guitar)、村山文夫氏(Drum)、湯川光郎氏(Bass)

観覧者数：65人

演奏曲目：J. Kosma作曲／枯れ葉

F. Churchill作曲／いつか王子様が

オリジナル曲／ハイチに祈りを捧げて

J. P. McCartney作曲／ミッシェル

H. Mann作曲／アフロ、ブルー



(ハイチに祈りを捧げて)

③前田英樹ピアノコンサート

日 時：2010年10月30日(日) 午後1時半～午後2時15分

場 所：秋田県立近代美術館 5 階中央ホール

出 演：前田英樹氏(Piano)

観覧者数：63人

演奏曲目：J. S. Bach作曲／インベンション第13番

J. S. Bach作曲／シンフォニア第2番

L. van. Beethoven作曲／ソナタ第14番 作品27-2

L. van. Beethoven作曲／ソナタ第14番 作品27-2「月光」第1楽章

F. F. Chopin作曲／ワルツ第3番 作品34-2

F. F. Chopin作曲／プレリュード第15番「雨だれ」作品28-15

F. F. Chopin作曲／ノクターン第20番

R. A. Schumann作曲／子供の情景 作品15より 第1番, 2番, 4番, 5番

R. A. Schumann作曲／アラベスク 作品18



(前田英樹ピアノコンサート)

美術館講座・美術講演

美術の鑑賞と理解を深めるために、河野元昭館長が美術館講座として「鎌倉時代の美術」を8回実施した。また、秋田市の秋田県生涯学習センターを会場に、館長が講座を3回実施した。詳細は次のとおりである。

◇美術館講座「館長講座」―室町時代の美術―

講師：河野元昭館長

全8回、登録受講者数 75名、延べ受講者数 369名（6F 研修室）

- ① 5月15日 オーバチュア 北山文化と東山文化 金閣と銀閣
- ② 6月12日 初期水墨画 黙庵と可翁
- ③ 7月10日 詩画軸 柴門新月図と陶淵明賞菊図
- ④ 9月11日 二人の美術ディレクター 明兆と周文
- ⑤ 10月16日 雪舟等楊 天橋立図と破墨山水図
- ⑥ 11月 6日 関東水墨画 祥啓と雪村
- ⑦ 1月 8日 土佐派とやまと絵 光信・光茂・町絵師
- ⑧ 2月 5日 狩野派登場 正信と元信



◇県生涯学習センター（美の国れんけいカレッジ）

明快！Artゼミ 「『國華』と秋田―秋田近美所蔵品を中心に―」

講師：河野元昭館長

全3回、延べ受講者数 196名

- ① 6月24日 小田野直武(秋田蘭画) 「不忍池図」
- ② 7月22日 沈南蘋 「鶴図」双幅
- ③ 8月26日 寺崎廣業 「秋園」

美術館ボランティア (AMC ‘アムック’ Akita Museum Cooperator)

秋田県立近代美術館におけるボランティア活動は、生涯学習振興の考えに基づき導入され、その活動を通して各自が学習し、その成果を実践に移すことを目標にすると共に、県民と美術館の懸け橋として、より多くの人々に親しまれる身近で開かれた美術館作りを目指している。

活動は、1カ月に1日(又は半日を2回)以上の活動日を各個人が定め、1年間継続することを原則としている。新会員に対しては事前研修終了後、実際の活動に入ってもらった。活動内容は、案内受付活動、資料整理・印刷物の発送準備作業など事務補助活動、野外彫刻作品の清掃などの他、会員への毎月の会報作成や、他県美術館における研修なども行っている。

◆会員数・活動内容

1 会員数 90名

2 活動内容

① 案内受付活動

- i 館内案内、誘導(館内各施設、順路ほか)
 - ・身障者、老人、子供対応
 - ・団体の整理、誘導
 - ・非常時の誘導
- ii 美術鑑賞マナーの普及活動
- iii 資料配付(リーフレット、作品解説チラシほか)
- iv 質問対応(展示資料、美術館の概要、観光、道路、交通機関など)

② 事務補助活動

- i 印刷物発送準備作業(ポスター、チラシ、美術館ニュースほか)
- ii 図書・新聞等の資料整理

③ 自己研修

- i ハイビジョン鑑賞(番組、データベース)
- ii 館蔵作品の調査研究等(図書資料室)
- iii 鑑賞学習会(ギャラリートーク)、ワークショップ等への参加

④ その他の活動

- i ふるさと村内でのPR活動(展覧会・付帯事業)
- ii ミュージアムコンサート等の手伝い
- iii 講演会準備の手伝い
- iv 野外彫刻の清掃
- v 印刷物(AMC通信など)の作成・発行

◆おもな関連行事

- ① 鑑賞学習会(特別展3本、企画展2本、コレクション展4本で各1～2回)
- ② 役員会(13回)
- ③ 講演会・美術館講座・コンサートへの参加
- ④ 研修旅行(10/23潟上市ブルーホール, 秋田市県立博物館)
- ⑤ 交流会(7/2当館会議室・実習室, 1/22ウェルネス横手路)
- ⑥ 新会員研修講座(随時)
- ⑦ 自主企画「絵本昔ばなし読み聞かせ」(2/11当館キッズルーム)
- ⑧ 総会(3/11)

ハイビジョンソフトウェア制作

ハイビジョンギャラリーでは、所蔵品及び世界の名品を高精細大型映像で鑑賞することと、所蔵品の画像や解説等の情報を自由に検索することができるが、そのためのソフトウェアを継続して制作している。

◇静止画番組のタイトル

◇2011（平成23）年度制作なし

◇2010（平成22）年度までの制作（23タイトル）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 時代の先駆者 平福穂庵 | 13 昭和の書家 松井如流 悠久の美 |
| 2 気韻生動の画家 平福百穂 | 14 横山津恵 清新な美の軌跡 |
| 3 福田豊四郎 新日本画をめざして | 15 近代日本画の巨匠 寺崎広業 |
| 4 自然と人間への憧憬 福田豊四郎 | 16 魂との対話 高田博厚 |
| 5 勝平得之 木版画の世界 雪国の風俗 | 17 佐々木英一 彩切貝・蒔絵の小宇宙 |
| 6 洋風画の泰斗 小田野直武 近代の予兆 | 18 光と風の中でー彫刻の四季ー |
| 7 所蔵日本画名作撰 | 19 小西正太郎 画家と女神たち |
| 8 所蔵彫刻名作撰 彫刻への誘い | 20 ようこそ美術館へ！ |
| 9 所蔵彫刻名作撰 彫刻との対話Ⅰ | 21 秋田洋画壇の先駆者たち |
| 10 所蔵彫刻名作撰 彫刻との対話Ⅱ | 22 馬場彬 僕のグレーこそ美しい |
| 11 勝平得之 木版画の世界 豊作への歩み | 23 伊藤弥太 あくなき絵画の求道者 |
| 12 鍛金の巨匠 関谷四郎 | |

◇購入ソフト

- 1 美術のたのしみ（10タイトル）
- 2 エルミタージュ美術館Ⅰ・Ⅱ（20タイトル）
- 3 オルセー美術館Ⅰ・Ⅱ（18タイトル）
- 4 フィレンツェ・ルネサンスⅠ（8タイトル）
- 5 日本で見られる19世紀フランス美術（20タイトル）
- 6 パリで見られる19世紀フランス美術（10タイトル）
- 7 印象派展覧会（8タイトル）
- 8 連作の魅力（12タイトル）
- 9 都市の表情（4タイトル）
- 10 日本絵画の至宝 絵画編 第2巻（30タイトル）

◇所蔵品データベース

平成23年度入力 0点
平成22年度までの入力 1075点

※平成17年度に上記ハイビジョンソフトを有効活用すべく、大幅なハイビジョン機器システムの更新を完了した。

出前美術館

「出前美術館～ARTが学校にやってくる！」

会 期：2011(平成23)年11月6日(日)～11月10日(木)
主 催：秋田県立近代美術館
共 催：能代市教育委員会
会 場：能代町立二ツ井小学校
担 当：三浦直、檜尾康子
作品数：46点（日本画14、洋画12、版画4、工芸2、書道2、
彫刻5、スケッチ3、木の遊具4）
参加者（児童・生徒・教員・一般）：1,136名



芸術作品の鑑賞体験がどこの学校でもできるようにと、来館が難しい地域の学校にはこちらから出向いて展覧会を実施している。この事業は今年で7年目を迎え訪問校も14校となった。今年は11月6日から11月10日までの5日間にわたり、能代市の二ツ井小学校で実施した。児童数は350名の大規模校で、前年に新築されたばかりの学校だったので、とてもよい展示環境だったが、壁に穴を空けない(釘を打たない)ように展示作業を進めたため時間がかかった。期間中は各学年、クラス毎に作品を鑑賞したり木の遊具にふれたりしながら充実した時間を過ごすことができた。また、学習発表会の日だけでなく、毎日のように地域の方々が訪れ作品を楽しんでくれた。能代市出身の作家の作品を見に来る人もおり、興味関心が高い人が多いと感じた。

◇関連記事

北羽新報 11/7

県立美術館移転新築記念事業 「レオナール・フジタがやってきた」 角館展

会期：2012(平成24)年2月6日(月)～2月26日(日)、
会場：仙北市立角館町平福記念美術館 第2展示室
主催：秋田県教育委員会 財団法人平野政吉美術館 秋田県立近代美術館
共催：仙北市立角館町平福記念美術館 後援：仙北市教育委員会
担当：三浦 直、木村雅洋
入場者数：825人

秋田県立美術館は、秋田市の蒐集家平野政吉氏の米蔵で15日間かけて制作した大壁画「秋田の行事」をはじめ財団法人平野政吉美術館が所有する藤田嗣治(Leonard Foujita, 1886-1968)の作品を多数展示している。秋田市の新美術館は平成25年秋の開館に向け工事中であり、この機会に藤田の作品を広く知っていただくため、今年度は藤田が取材に訪れ随筆にも書き残した土地・角館で展覧会を開催し、県が所有する作品と合わせて油絵、版画、スケッチなどの作品60点を紹介した。

横手商工会議所による応援団宣言

10月28日、横手商工会議所は郷土の文化・芸術を振興し、地域を元気にしようと県立近代美術館の応援を宣言。87の事業所を代表し、奥山和彦会頭が河野元昭館長に宣言書を手渡した。応援の内容は「利用促進につながる企画の立案」「企画展など主催事業の紹介」「ポスターの掲示やチラシ配布を通した美術館の紹介」など。

ネットワーク事業（共催：秋田県立近代美術館、秋田県立図書館）

第1期ネットワーク事業 **福田豊四郎展** ～^{いのち}生命をみつめて～

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室

会期：2011(平成23)年10月2日(日)～10月29日(土) 27日間（休館日10月3日）

展示作品 当館所蔵の福田豊四郎作品・資料から、小動物や子どもたちをテーマにして描いた作品を中心に、日本画やスケッチ27点のほか、スケッチ帖、カレンダー(メモ)、書籍・素描集等の資料を展示

関連事業 秋田ふるさとセミナー第3回 「福田豊四郎ー人と芸術ー」

講師：河野元昭館長

期日：2011(平成23)年10月29日(土)13:30～15:00

会場：秋田県立図書館3階多目的ホール

参加者：42名

担当：三浦 直・檉尾康子

入場者数：3,508名

第2期ネットワーク事業 **伊藤博次展** ～私の愛した風景～

会場：秋田県立図書館 2階特別展示室

会期：2011(平成23)年12月10日(土)～2012(平成24)年1月31日(火) 46日間（休館日12月28日～1月3日）

展示作品 当館所蔵の伊藤博次作品の中で、風景を描いた1950年以降の作品13点のほか、伊藤が表紙絵とカットを担当した「秋田文学」、印章、図録等を展示

担当：三浦 直・檉尾康子

入場者数：4,566名

第47回横手地区高校美術展

会期：2011(平成23)年9月16日(金)～20日(火)

会場：5階ふれんどリーギャラリー、スロープギャラリー

主催：横手地区高校美術連盟（事務局校：増田高等学校）

参加校：平成高校、増田高校、雄物川高校、横手高校、横手城南高校、横手清陵学院高校

展示作品：絵画13点、デザイン75点(計88点)

今年で3度目を数える横手地区の高校美術部員による展覧会。作品点数が多いため、フrendリーギャラリーに加えて5～6階に至るスロープの壁面も使い展示した。全県高校美術展の期間外に行う小品中心の展示ということもあるが、イラストレーションを含めたデザイン部門の作品が多い。高校美術部員の興味関心が作品に表れている。展示作業に合わせて展覧会鑑賞、部員同士の交流がプログラムされており、普段セカンドスクール利用が少ない高校生にとってよい利用機会になった。

でまえわくわく美術展（特別支援学校文化連盟美術展・県南巡回展）

会期：2011(平成23)年11月16日(木)～20日(水)

会場：5階ふれんどリーギャラリー、スロープギャラリー

主催：特別支援学校文化連盟（事務局校：ゆり養護学校）

参加校：秋田県の特別支援学校文化連盟美術展より優秀作品を選抜して展示

展示作品：絵画(四つ切)59点、立体22点(計81点)

美術館のセカンドスクールの利用

概況

	セカンドスクールの利用					総利用 学校数	総利用 人 数
	幼・保園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校		
4月	0	0	0	0	1	1	11
5月	0	12	4	0	1	17	761
6月	0	14	1	1	0	16	737
7月	0	6	2	0	1	9	405
8月	1	1	2	0	0	4	202
9月	0	48	3	1	3	55	2,810
10月	1	0	1	0	0	2	40
11月	1	11	1	1	0	14	810
12月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	1	0	0	1	59
2月	0	4	1	1	0	6	192
3月	0	1	0	0	0	1	28
合計	3 園 (76人)	97校 (4,311人)	16校 (695人)	4校 (70人)	6校 (903人)	126 校・園 *のべ数	6,055人
総計	平成22年度 92校 (3,973人)					幼・保 4園	125人
	平成21年度 106校 (4,441人)					〃 10園	375人
	平成20年度 62校 (2,957人)					〃 5園	144人
	平成19年度 91校 (3,739人)					〃 7園	287人

利用校

平成23年度セカンドスクール利用校一覧

羽後明成小学校	湯沢東小学校	西馬音内小学校	高清水小学校	追分小学校	湯沢西小学校	稲庭小学校
川連小学校	仙道小学校	湯沢市立横堀小学校	三関小学校	須川小学校	増田小学校	小野小学校
皆瀬小学校	元西小学校	大仙市立横堀小学校	駒形小学校	阿気小学校	醍醐小学校	白岩小学校
神宮寺小学校	太田北小学校	十文字第一小学校	藤木小学校	福地小学校	田根森小学校	浅舞小学校
高梨小学校	東由利小学校	横手市立金沢小学校	西明寺小学校	桧木内小学校	刈和野小学校	角館小学校
金浦小学校	植田小学校	大川西根小学校	仁井田小学校	仙南東小学校	境町小学校	黒川小学校
東成瀬小学校	吉田小学校	十文字第二小学校	川内小学校	六郷小学校	築山小学校	双葉小学校
雄物川北小学校	中川小学校	美郷町立金沢小学校	山内小学校	南外西小学校	山谷小学校	旭川小学校
二ツ井小学校	清水小学校	横手市立南小学校	五城目小学校	旭北小学校	旭小学校	象潟小学校
南檜岡小学校	北神小学校	聖カスリ学院中学校	御所野小学校	中仙中学校	山内中学校	雄勝中学校
東成瀬中学校	金沢中学校	外旭川中学校	西明寺中学校	鳳中学校	大曲中学校	増田中学校
山田中学校	横手南中学校	桧木内中学校	平鹿中学校	土崎中学校	三輪中学校	高瀬中学校
羽後中学校	角館中学校	ソウル高校(韓国)	神代中学校	大曲高校	横手高校	不来方高校
千秋学園	横手養護学校	秋大附特別支援学校	御所野保育園	常盤保育園	こひつじ幼稚園	

領域

・図工科、美術科、生活科、社会科等の各教科、総合的な学習の時間および特別活動

内容

- ・企画展・コレクション展の作品鑑賞
- ・野外彫刻の鑑賞・美術館「探検」
- ・土粘土作り、木で作る川原の石、ローラーで描く大きな絵、企画展にちなんだ製作 等

◆出前美術館

学校に出向いて行う「出前美術館(出前セカンドスクール)」は、本年度で7回目となる。
絵画、彫刻、版画、書、工芸作品42点のほか、木製遊具も展示した。地域の方々の積極的な参加もあった。
能代市立二ツ井小学校 11月6～10日 S S 442人、一般694人 合計1,136人

◆部活動での活用

・(のべ数) 中学校8校 178人

博物館実習

期間：2011(平成23)年9月7日(水)～12日(月) 6日間

実習生所属大学及び人数

弘前学院大学1名 岩手大学3名 東北芸術工科大学1名 山形県立米沢女子短期大学2名 計7名

◆実習内容

期 日	実 習 内 容
9月 7日(水)	オリエンテーション、施設・設備の見学、教育普及事業に関する実習1(造形活動)
9月 8日(木)	教育普及事業に関する実習2(セカンドスクールの活動補助)、収蔵品の展示に関する実習、
9月 9日(金)	作品の取扱いと保存・修復に関する実習1(軸装作品)、〃実習2(野外彫刻の保存管理及び点検洗浄)
9月10日(土)	教育普及事業に関する実習3(キッズルームの遊具等制作)、〃実習4-1(やさしい鑑賞シート作成)
9月11日(日)	教育普及事業に関する実習4-2(やさしい鑑賞シート作成)、美術館講座聴講・補助活動
9月12日(月)	教育普及事業に関する実習5(対話型鑑賞)、実習反省会・資料のまとめ

全国美術館会議

日時：平成23年5月26日（木）13:30～17:45
5月27日（金）10:00～11:20

演題：1日目

- ① 総会 議長：河野元昭（秋田県立近代美術館長）
- ② 特別セッション：「東日本大震災と美術館」
- ③ 情報交換会（18:00～）

2日目

美術館視察：秋田県立近代美術館
館内施設見学、及び特別展
「アートで虫むし とびきりコラボ大作戦！」、
コレクション展「日本画セレクション」鑑賞

会場：1日目 横手セントラルホテル

2日目 秋田県立近代美術館

参加：126館



（総会の様子）

国内の国公立美術館が加盟する組織「全国美術館会議」（全美、会長＝青柳正規・国立西洋美術館館長）の第60回総会が、5月26日に横手市で開催された。

総会を開始するにあたり、東日本大震災被災者への黙祷が行われた。青柳会長は挨拶で、全美の念願だった美術品国家補償法が成立したことについて言及し、会員館への謝辞を表した。総会は参加126館の内、今回のホスト館である当館の河野元昭館長を議長に選出し、小野靖子副館長の司会で進行了。本年は役員改選の年にあたり、青柳会長、徳川義崇副会長（徳川美術館館長）が再任され、建畠哲氏（埼玉県立近代美術館館長）と山脇佐江子氏（姫路市立美術館館長）の副会長への新任が決定した。再任された青柳会長は「震災で日本全体が厳しい状況の時こそ、美術館活動の活力を小さくしてはならない」と挨拶した。

後半は「東日本大震災と美術館」と題した特別セッションが開かれた。被災地区5県から岩手県立美術館、宮城県立美術館、福島県立美術館、栃木県立美術館、茨城県近代美術館の代表が、自館と近隣館の被災状況を写真資料と共に報告。特に被害が甚大だった石巻文化センターでは文化庁の「文化財レスキュー」活動により、同センターの収蔵品が宮城県美術館へと移送され、応急処置を受けている事例も報告された。

翌27日には、150名余りが当館へ視察に訪れ、開催中の企画展「アートで虫むし とびきりコラボ大作戦！」とコレクション展「日本画セレクション」などを鑑賞した。震災の影響で一時は開催が危ぶまれた総会だったが、「このような時にこそ東北で開催する意義があるのではないか。」という全国の美術館関係者の熱い思いが結集し、無事に開催することができたのではないのだろうか。関係者の方々に心より感謝申し上げます。そして、被災地の日も早い復興をご祈念申し上げます。



（総会議長を勤める河野館長）

◆関連記事

秋田魁新報 5/27

河北新報 5/27

収集事業 美術品収集

収集方針

- ①秋田蘭画・初期洋風画作品や資料
- ②近代以降の本県出身及びゆかりの作家の作品
- ③日本の美術思潮を学ぶことのできる作品や資料
- ④当館の収集作品としてふさわしい内外の作品や資料

◆美術品等収集状況(平成23年度末まで)

種 別	県美術品取得基金	優秀美術作品収集事業	寄 贈	他施設から所管替	合 計
秋 田 蘭 画	6	0	1	5	12
東 洋 画	0	0	1	1	2
日 本 画	225	31	166	166	588
洋 画	58	148	172	70	448
版 画	11	34	237	69	351
彫 刻	126	12	28	5	171
工 芸	29	1	7	1	38
書	13	7	231	2	253
デ ザ イ ン	0	0	2	6	8
写 真	3	0	2	0	5
素描・下絵・資料等	15	0	196	12	223
合 計	486	233	1043	337	2099

◆2011(平成23)年度収集

種 別	県美術品取得基金	寄 贈	合 計
日 本 画	0	1	1
洋 画	0	7	7
彫 刻	0	3	3
素描・下絵・資料等	0	1	1
合 計	0	12	12

寄贈による収集

No.	種 別	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)
1	日本画	平福穂庵	鯉図	—	絹本着色額装	23.5×66.3
2	洋画	牧野英二郎	作品(仮称)	1975ころ	紙・パステル	33.8×18.7
3	洋画	渡辺喜久蔵	北国瞬晴	1967	キャンバス・油彩	112.0×145.5
4	洋画	渡辺喜久蔵	冬の谷地湿原	1986	キャンバス・油彩	130.3×162.0
5	洋画	渡辺喜久蔵	雪国晴れたり	2005	キャンバス・油彩	194.0×162.0
6	洋画	渡辺喜久蔵	雪国悠久	2009	キャンバス・油彩	194.0×162.0
7	洋画	平澤理紀夫	v i v i d	2001	キャンバス・油彩	130.3×162.0
8	洋画	平澤理紀夫	2005年の風景	2005	ベニヤ板・油彩・布・網	130.3×162.0
9	彫刻	皆川嘉博	源流	2003	テラコッタ(靱殻焼)、鉄芯	H350×W155×D90
			—靱殻焼・タイ北部地方式バージョンⅡ—			
10	彫刻	峯田敏郎	記念撮影—異人館・阿仁合—	2004	樟、彩色、銅、真鍮	H160×W140×D95
11	彫刻	峯田敏郎	記念撮影—異人館—	2003	樟、彩色	H45×W34×D20
12	資料	高橋萬年ほか	櫻庭藤二郎宛年賀状・書簡(23点)	1952ほか	紙・墨・インク等	

美術品保存・修復

No.	種 別	作家名	作品名	修復内容
1	日本画	柴田安子	役行者八大童子像	軸装から和額装への表装改装

図書資料分類冊数一覧 2012(平成24)年3月31日現在

分 類	平成23年度新収図書	分類別合計
一般図書		
美術総記	44	1,583
日本美術	21	2,665
西洋美術	0	673
東洋、その他の美術	0	166
秋田資料	3	575
関係諸学	22	863
所蔵品図録、研究報告、年報	248	3,638
展覧会図録	359	6,899
美術雑誌他	144	6,576
	841	23,638

調査・研究

河野元昭

- 講座 美術館講座「室町時代の美術」、秋田県立近代美術館、2011年5月～2012年2月まで8回
- 講座 明快！Artゼミ「『國華』と秋田ー秋田近美所蔵品を中心にー」、秋田県生涯学習センター、2011年6月～8月まで3回
- 講座 秋田ふるさとセミナー「福田豊四郎ー人と芸術ー」、秋田県立図書館、2011年10月29日
- 論考 「秋田の美術によせて7ー小泉淳作画伯(1)ー」『秋田美術No.48』（紀要）、秋田県立近代美術館、2012年3月31日

三浦 直

- 作品解説「ギャラリーと～く 佐藤忠良の彫刻 常磐の大工」『秋田魁新報』、2011年5月5日

沼田 仁

- 作品解説「ギャラリーと～く アートでむしむしとびきりコラボ大作戦！展上」『秋田魁新報社』、2011年4月14日
- 作品解説「ギャラリーと～く アートでむしむしとびきりコラボ大作戦！展下」『秋田魁新報社』、2011年4月28日

田村 稔

- 実技講座『平成23年度 潟上市・南秋田郡教育研究会(造形部会)実技研修会』、潟上市立天王南中学校、2011年9月7日
- 作品審査『第71回全国教育美術展 秋田地区審査』秋田市立高清水小学校、2011年11月6日
- 作品解説「ギャラリーと～く 日本画の風景 上」『秋田魁新報』、2011年11月10日
- 「ギャラリーと～く 日本画の風景 下」『秋田魁新報』、2011年11月24日
- 実技講座『パパと一緒になかよし広場』（横手市子育て支援センター「なかよし広場」主催事業）、県立近代美術館、2011年11月20日
- 講座『平成23年度県教育委員会との教育連携 男鹿市立船川第一小学校「図画工作科に関する職員研修」』、男鹿市立船川第一小学校、2012年1月10日

山本文志

- 実技講座 湯沢市民大学「じっくり絵画コース」、湯沢生涯学習センター(湯沢市)、2010年5月から10回(5/25, 6/15, 7/20, 9/21, 10/19, 11/16, 12/21, 1/18, 2/15, 3/7)
- 作品解説「ギャラリーと～く アート・リポート・アキタ2011日本画セレクション」『秋田魁新報』、2011年6月2日
- 講座「秋田蘭画 世界に誇る秋田蘭画の魅力について」、秋田市中通地区高齢者学級学習会、中通児童館(秋田市)、2011年6月9日
- 作家紹介「果てしなき闇・山脇佐久子」『視覚の現場 四季の綻び9号』、醍醐書房、2011年6月15日
- 講座「秋田の美術」、秋田県立大学選択講座「秋田の歩き方入門 秋田の美術」、秋田県立大学(秋田市)、2011年6月23日
- 資料作成「手のひらの桃源郷 THE 柴田安子」展関連資料(収蔵品目録・作品解説)、2011年7月
- 作品解説「墨のある風景・平福百穂《法然上人》」『月刊水墨画』第23巻第4号、2011年7月15日
- 資料作成「赫い女●紺野五郎素描展」関連資料(調査作品目録、収蔵品目録・作品解説)、2012年2月
- 作品解説「ギャラリーと～く 赫い女●紺野五郎素描展」『秋田魁新報』、2012年3月8日
- 論考「手のひらの桃源郷 柴田安子が遺したもの」『秋田美術No. 48』（紀要）、秋田県立近代美術館、2012年3月31日、pp4-18
- 資料作成「THE 柴田安子展出展目録」『秋田美術No. 48』（紀要）、秋田県立近代美術館、2012年3月31日、pp19-28

木村雅洋

- 作品解説「ギャラリーと～く 時代のよそおい展 上」『秋田魁新報』、2012年1月5日
- 作品解説「ギャラリーと～く 時代のよそおい展 下」『秋田魁新報』、2012年1月26日

佐藤博

- 資料作成「2011年県内美術展開催一覧(1～12月)」『秋田美術No. 48』（紀要）、秋田県立近代美術館、2012年3月31日、pp29-36

美術品の貸し出し

No.	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	展覧会名・会期ほか
1	福田豊四郎	「濤」	京都国立近代美術館 東京国立近代美術館 広島県立美術館	H22. 8/18～5/29 ※	「日本画」の前衛 1938-1949展 H22. 9/3～3/27 ※東日本大震災のため返却日時延期
2	紺野五郎	「見送り人席」	秋田県公共建築物活用室	H22. 10/27～4/26	本庁舎 2 階渡り 廊下装飾
3 ～41	藤田嗣治	「藤田一家」他計38点 ガンダーラ仏像	(財)平野政吉美術館	H22. 11/16～4/15	「藤田嗣治 小さなものへのま なざし」展 他
42 43	河村千代三 〃	「南風」 「港」	横手清陵学院	2/15～8/14	学校内展示
44 45	松井如流 〃	「奥」 「達」	国際教養大学	3/1～8/31	学校内展示
46 ～86	藤田嗣治	「藤田一家」他計40点 ガンダーラ仏像	(財)平野政吉美術館	4/16～10/15	「藤田嗣治の日本画 墨筆礼讃」 展 他
87 88 89	福田豊四郎 〃 〃	「山菜売る人達」 「早苗曇り」 「秋田のマリヤ」	岡崎市美術博物館	4/26～6/2 ※	「桃源万歳！」展4/9～5/22 ※東日本大震災のため後期のみ展示
90 ～212	作者不詳	印籠・根付122点	秋田県立博物館	6/14～8/25	「粋なよそおい 雅なよそおい」 展 7/2～8/21
213 214	水戸敬之助 田宮進	「雨後(レマン湖)」 「風車のある風景」	国際教養大学	9/1～H24. 2/28	学校内展示
215 216 217 218	平福穂庵 平福百穂 〃 〃	「乳虎」 「鳳仙花と七面鳥」 「杜鵑夜」 「蓬莱山」	仙北市立角館町 平福記念美術館	9/26～11/30	常設展「平福穂庵・百穂展」 10/1～11/23
219 ～259	藤田嗣治	「藤田一家」他計40点 ガンダーラ仏像	(財)平野政吉美術館	10/16～H24. 3/31	常設展「旅のマドレーヌ」展 他
260 261 262 263	小田野直武 〃 石川大浪・孟高 佐竹曙山	「不忍池図」 「写生帖」 「ファンロイエン筆花鳥図模写」 「松に唐鳥(寄託品)」	神戸市立博物館	12/1～H24. 2/2	「日本絵画のひみつ」展 12/10～ H24. 1/22
264	河村千代三	「南風」	秋田県知事公室 秘書課	H24. 2/24～ H25. 2/23	県庁玄関ホールに展示
265 266	伊藤博次 長谷川善四郎	「ある日」 「シャンツェ遠望」	国際教養大学	H24. 2/29～8/31	学校内展示

刊行物

◆A R K (アーク、秋田県立近代美術館ニュース)

秋田県立近代美術館では、展覧会の概要やさまざまな美術館活動などの広報を目的とし、美術館ニュース「A R K」を年4回発行している。「A R K」とは、ラテン語で「箱」を意味する言葉で、『聖書』では、ノアが大洪水から逃れた箱船のことをさす。当館の外観が“空中に浮遊する巨大な箱船”に見えることから命名された。

平成20年度よりデザインを親しみやすいものに改変し、発行を年2回とした。

No. 62 2011年9月30日発行 A3二つ折り 4頁

事業報告等：「全国美術館会議 横手市で開催」、「東日本大震災余話」

展覧会レポート：「アートで虫むし とびきりコラボ大作戦!」、「光と影のファンタジー 藤城清治展」

トピックス：A. R. A2011第1期「日本画セレクション」、第2期「THE 柴田安子」

セカンドスクール、平成23年度上半期レポート、インフォメーション

No. 63 2012年3月31日発行 A3二つ折り 4頁

事業報告：「出前美術館」、ネットワーク事業第1期「福田豊四郎展」、第2期「伊藤博次展」

展覧会レポート：「ハイチの素朴な絵画展」、「時代のよそおい展」、「赫い女●紺野五郎素描展」

トピックス：A. R. A2011第3期「日本画の風景」、第4期「見いだされたフォルム」

セカンドスクール、平成23年度下半期レポート、インフォメーション

◆秋田美術 第48号 2012年3月31日発行 A4 36頁

秋田県の美術や美術教育、そして展覧会等に関する調査・研究活動の成果を論文として集約するとともに、秋田県内の美術界の動きを総括し、県内美術館、ギャラリー等の展覧会開催状況をまとめている。

◆展覧会図録・パンフレット

平成24年度行事案内リーフレット

2012年3月発行 A4 2頁

入館状況

平成 23 年度 月別入館者数

月	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	合計
入館者数（人）	2593	8704	4168	9876	35508	52373	9323	8491	4206	3969	1936	2614	143761

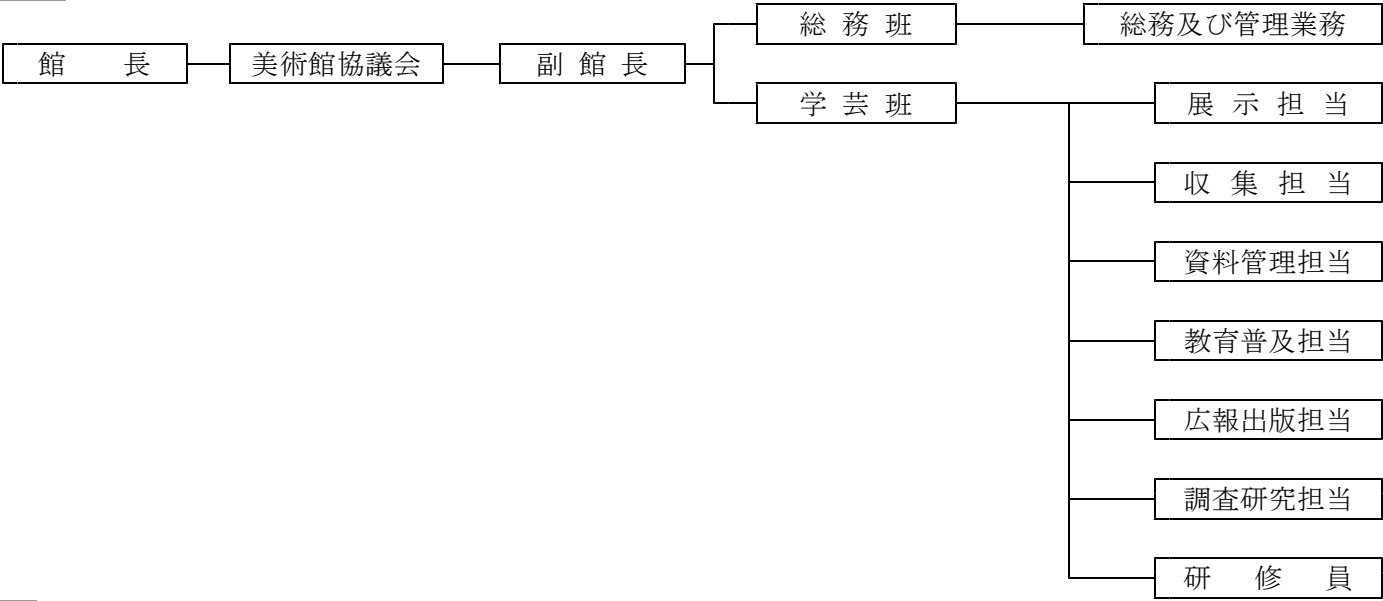
利用者数一覧表

事業別			入館者	特別企画展入場者				企画展入場者				常設展のみ
				アートで虫 むし とびき りコラボ大 作戦！	光と影のフ ァンタジー 藤城清治の 世界展	ハイチの素 朴な絵画展	計	雪と遊ぶ ～冬を楽しむ 美術展～ ※2/5～	時代のよそ おい展	赫い女 紺野五郎素 描展 ※～4/15	計	計
区分												
開催期間			4/1(木)～ 3/31(木)	4/23(土)～ 7/13(水)	7/22(金)～ 9/25(日)	10/1(土)～ 11/27(日)		4/1(水)～ 4/17(日)	12/3(土)～ 2/12(日)	2/18(土)～ 3/31(木)		
日数（日）＊			353	82	66	58	206	17	59	43	119	28
利用者数（人）			143,761	8,091	93,039	5,174	106,304	1,242	4,300	3,274	8,816	3,518
一日平均（人）			407	99	1,410	89	516	73	73	76	74	126
有 料	個 人	一般		1,902	63,752	1,156	66,810	0	0	0	0	0
		シルバー		85	0	93	178	0	0	0	0	0
		身障一般		25	1,452	45	1,522	0	0	0	0	0
	団 体	一般		78	1,760	204	2,042	0	0	0	0	0
		合 計		2,090	66,964	1,498	70,552	0	0	0	0	0

※「雪と遊ぶ ～冬を楽しむ美術展～」は、平成23年2月5日～4月17日まで開催。
「赫い女 紺野五郎素描展」は、平成24年2月18日～4月15日まで開催。
＊平成23年12月29日～31日、平成24年1月10日～19日は年末及び館内メンテナンスのため休館。
平成23年4月8日は、4月7日に発生した地震で停電のため休館。
この他に、出前美術館の観覧者1,136人、ネットワーク事業展(県立図書館にて)の観覧者8,074人 が加わる。
なお、上記の入館者数には「レオナルド・フジタがやってきた」角館展の観覧者825人は含まない。

組 織

組織図



職 員

館 長	長	河 野 元 昭	事 務 補 助 職 員	佐 藤 真紀子
副 館 長	長	小 野 靖 子	学 芸 補 助 職 員	藤 原 葵
副 主 幹 (兼) 班 長	長	松 橋 浩 治	解 説	松 下 公 子
主 査	任	渡 部 雄 二		新 田 南 海 子
主 任	任	柴 田 優 直		高 橋 亜 紀 子
主 幹 (兼) 班 長	長	三 浦 直 仁		加 藤 七 生
主 任 学 芸 主 事	事	沼 田 康 子		西 村 真 由 子
学 芸 主 事	事	檜 尾 村 稔		児 玉 友 美
		田 本 村 志		川 津 扶 由 美
		山 本 村 志		佐 藤 晴 香
		木 村 雅 洋		柿 崎 美 和 子
技 能 主 任 員	員	菊 地 信 夫		芦 沢 千 鶴
研 修 員	員	佐 藤 博		大 越 秋 穂

美術館協議会委員

会 長	根 田 穂美子	子どものアトリエ絵画教室主宰
副 会 長	森 田 慶 子	自由美術協会会員
	加 藤 潔 行 夫	日本放送協会秋田放送局局長
	工 藤 敏 夫	公募
	古 関 俊 勝	横手市立横手南中学校校長
	齊 藤 千 秋	株式会社 秋田ふるさと村総務課課長
	秋 島 祐 子	横手市教育委員会生涯学習課課長
	三 橋 由美子	通訳案内業
	小 川 浩 義	(株)秋田魁新報社文化部部長
	森 田 克 彦	自営業

建築・設備概要

建築概要

建設地／秋田県横手市赤坂富ヶ沢62-46
敷地面積／164,936.81㎡(秋田ふるさと村)
建築面積／2,947.32㎡
延床面積／11,166.50㎡
構造／鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
 地下1階 地上7階 PH1階
設計／株式会社 山下設計東北支社
監理／秋田県土木部営繕課・山下設計東北支社

施工

建築工事／大成・フジタ・三井・伊藤建設工事企業体
空調／ダイダン・山二建設工事共同企業体
電気／東光電気・伊藤電気建設工事共同企業体
給排水衛生／岡田水道施設工事(株)
受変電／羽後・伊藤電気建設工事共同企業体
弱電／千代田電気工業(株)
昇降機／三菱電機(株)

設備概要

●電気設備

受変電設備／受電電圧3f 3W 6.6KV 50Hz
 設備容量1,500KW
非常用発電設備／ディーゼル発電器(A重油)300KVA200V
蓄電池設備／非常照明・電源設備制御兼用 250Ah×1台
監視設備／中央監視装置：機能分散型DDC方式による集中監視制御
照明設備／蛍光管主体
 展示室照明：高演色性蛍光管(調光及び集中点滅制御方式) 外壁照明：無電極ランプ(パターン照明方式)
視聴装置設備／拡声放送・電気時計・身障者トイレ呼出表示・TV共聴研修室AV装置・ハイビジョンギャラリー4系統(110インチ背面投射型1台・60インチ背面投射型3台)ハイビジョンデータベースシステム1系統(32インチCRT1台)
防犯設備／防犯センサー・ITV装置
防災設備／自動火災装置・防排煙設備

●空調設備

熱源設備／吸収式冷温水発生機2000RT×2台 LPG
 焚真空式温水ボイラー80,000Kcal/H×1台
空調設備／ユニット型空調機(還風機組込型)×4台
 ユニット型空調機(全熱交換機組込一体型)×5台
 ファンコイルユニット天井カセット型×105台
 水冷式パッケージ型空調機×6台
 空冷式ヒートポンプ型パッケージ×3台
換気設備／第1種及び第3種換気方式
排煙設備／機械排煙及び自然排煙
自動制御設備／機能分散型
薫蒸設備／常圧手動式ユニット型20㎡

●給排水衛生設備

給水設備／上水引込口径75mm 重力給水方式
 受水槽24m³ 高置水槽6m³
給湯設備／局所式(電気貯湯式)：各階湯沸室・宿直室ガス
排水設備／建物内：汚水・雑排水・雨水の各分流式
 建物外：生活排水はふるさと村施設全体の浄化槽へ導入
ガス設備／ふるさと村施設全体の集中LPG装置より供給
 主に空調用熱源のエネルギー源として利用

消火設備／炭酸ガス消火・屋内消火栓

●エレベーター設備

乗用エレベーター	1150kg	105m/分	2台
乗用エレベーター	1150kg	90m/分	1台
荷物用エレベーター	3000kg	45m/分	1台
小荷物用エレベーター	300kg	30m/分	1台

●エスカレーター

展望エスカレーター	9000人/時	30m/分	1分
-----------	---------	-------	----

主な設備

5階展示室(4室)	983.10㎡	収蔵庫(5室)	852.9㎡
(1)	260.28㎡	会議室	69.4㎡
(2)	293.76㎡	実習室・準備室	135.0㎡
(3)	237.13㎡	図書資料室	160.5㎡
(4)	191.93㎡	調査研究室	45.5㎡
6階展示室(3室)	786.90㎡	ハイビジョンギャラリー	241.9㎡
(1)	255.96㎡	研修室	226.7㎡
(2)	293.76㎡	キッズ・ルーム	128.9㎡
(3)	237.13㎡		

関係法規

秋田ふるさと村条例（抜粋）

第1章 総則
（設置）

第1条
秋田県の文化遺産を次代に継承するとともに、郷土の文化を創造する機会を提供し、及び観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、もって県民のゆとりのある文化的な生活の向上に寄与するため、秋田県ふるさと村（以下ふるさと村という）を横手市赤坂字富ヶ沢に設置する。

（業務）
第2条
ふるさと村は、次の表の上欄に掲げる施設の区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる業務その他ふるさと村の設置の目的を達成するために必要な業務を行う。

施設	業務
秋田県立近代美術館	県にゆかりある作家の優れた美術作品を中心に収集し、保管し、及び展示し、併せて美術に関する調査研究及び普及活動を行う。

第2章 近代美術館
（近代美術館）

第4条
秋田県立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に規定する教育機関とする。

（職員）
第5条
近代美術館に事務職員その他の所要の職員を置く。

（近代美術館協議会）
第6条
近代美術館に博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第2項に規定する博物館協議会として、秋田県立近代美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、委員10人以内で組織する。
- 3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。
- 一 学校教育及び社会教育の関係者
 - 二 家庭教育の向上に資する活動を行う者
 - 三 学識経験のある者
 - 四 近代美術館の利用者
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（入場料等の徴収）
第7条
近代美術館の特別展示室（特別の企画に基づく展示

を行う展示室をいう。以下同じ）に入場する者から、別表第1に定めるところにより、入場料を徴収する。ただし、幼児、小学校児童、中学校及び高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生（これらの者に準ずる者を含む。）については、この限りではない。

2 前項本文の規定にかかわらず、同項本文の入場料と合わせてふるさと村のスノーホワイト城又はかまくらシアターの使用料を同時に納める者の入場料（定期券によるものを除く。）については、別表第1に定める金額の範囲内において知事が別に定める。

3 入場料は、特別展示室への入場の都度徴収する。ただし、定期券による入場にあたっては、これを発行するときに徴収する。

（入場料等の減免）
第8条
知事は、特別の理由があると認めたときは、入場料を減免することができる。

（入場料等の不還付）
第9条

既に徴収した入場料は、還付しない。ただし、知事は、入館者の責めに帰することができない理由により特別展示室に入場することができなくなった場合その他特に必要があると認めた場合は、その一部又は全部を還付することができる。

（規則への委任）
第10条

この条例に定めるもののほか、近代美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則
この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表第1
特別展示室の入場料（第7条関係）

区分	金額（一人につき）
普通料金	800円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,500円を超えない範囲内で知事が定める額
団体料金 （20人以上の団体）	720円。ただし、知事が別に定める展示にあつては、1,350円を超えない範囲内で知事が定める額
定期券 （有効期間1年）	1,500円。

教育機関の管理及び運営に関する規則（抜粋）

(趣旨)

第1条

この規則は、学校以外の教育機関の管理及び運営の基本的事項を定めるものとする。

第12条

条例第6条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、別に定めるところにより、申請書を知事に提出しなければならない。

第8章の2 近代美術館

(開館時間)

第37条の2

秋田県立近代美術館（以下この章において「近代美術館」という。）の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、近代美術館の長（以下この章において「館長」という。）は、必要があると認めるときは、当該時間を変更することができる。

(休館日)

第37条の3

近代美術館の休館日は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 年始（1月1日及び1月2日）
- 2 年末（12月29日から12月31日まで）

(資料の館外貸出し等)

第37条の4

近代美術館の資料の館外貸出しを受け、又は特別利用しようとする者は、館長の定めるところにより、所要の手続きを経なければならない。

(準用)

第37条の5

第3条第3項及び第4項の規定は近代美術館の休館日の取扱い等について、第6条の規定は近代美術館の利用を拒否し、又は近代美術館からの退去を命ずる場合について、第7条の規定は近代美術館に資料を寄贈する場合等の手続について、第12条の規定は秋田県ふるさと村条例(平成5年秋田県条例第45号)第8条の規定による入場料の減免を受けようとする場合について準用する。

(補則)

第37条の6

この章に定めるもののほか、近代美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、館長が教育長と協議して別に定める。

附則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

館内図

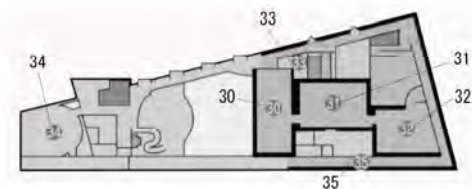
7F 36 近美キッズ・ルーム Kid's Room

7F



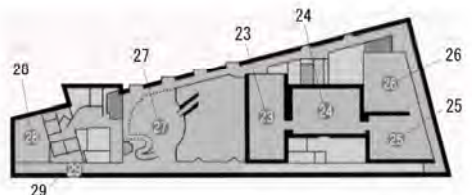
6F 35 スロープギャラリー Slope Gallery
34 研修室 Auditorium
33 授乳室 Baby Room
32 展示室(3) Exhibition Gallery3
31 展示室(2) Exhibition Gallery2
30 展示室(1) Exhibition Gallery1

6F



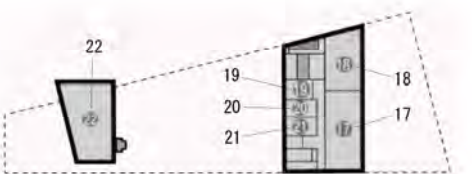
5F 29 ふれんどリーギャラリー Friendly Gallery
28 ハイビジョンギャラリー Hi-Vision Gallery
27 中央ホール Main Hall
26 展示室(4) Exhibition Gallery4
25 展示室(3) Exhibition Gallery3
24 展示室(2) Exhibition Gallery2
23 展示室(1) Exhibition Gallery1

5F



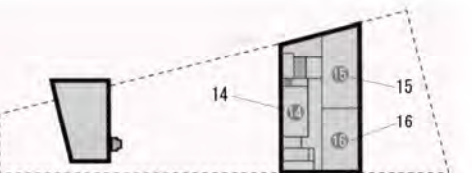
4F 22 電気室 Electric Room
21 調査・研究室 Study Room
20 館長室 Director's Room
19 応接室 Lounge
18 図書・資料室 Library
17 事務室 Museum Office

4F



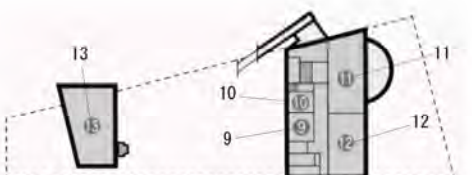
3F 16 収蔵庫(5) Storage Room5
15 収蔵庫(4) Storage Room4
14 収蔵庫(3) Storage Room3

3F



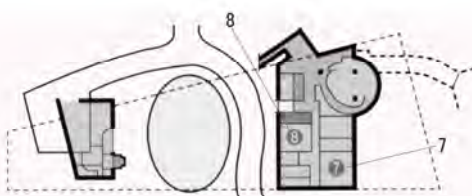
2F 13 機械室 Machine Room
12 収蔵庫(2) Storage Room2
11 収蔵庫(1) Storage Room1
10 暗室 Dark Room
9 写真室 Photo Studio

2F



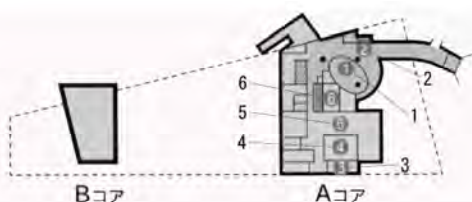
1F 8 会議室 Conference Room
7 実習室 Atelier

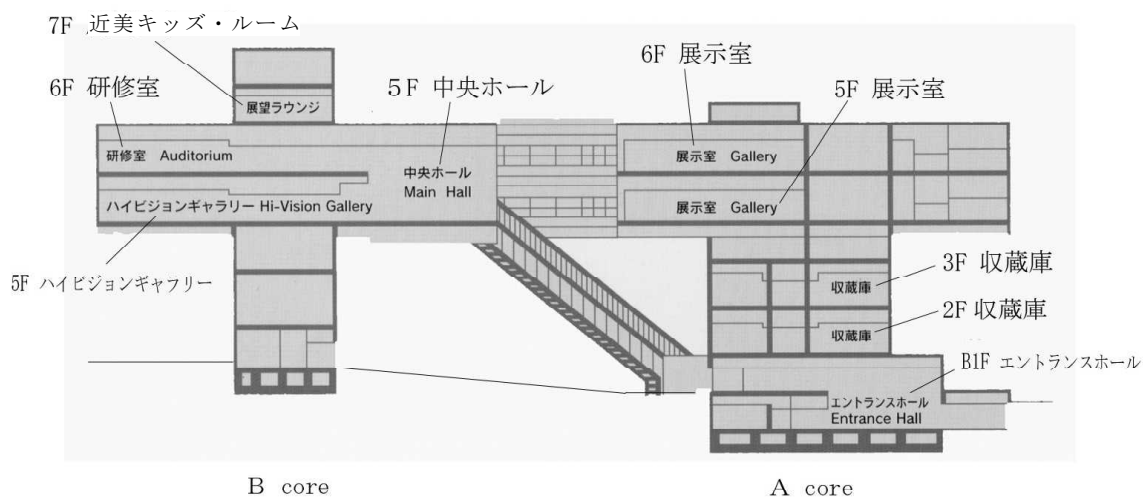
1F



B1F 6 薫蒸室 Fumigation Room
5 荷解室 Packing Room
4 一時保管庫 Temporary Storage Room
3 管理室 Guard Room
2 インフォメーション Information
1 エントランスホール Entrance Hall

B1F





- 1 エントランスホール
彫刻が並ぶアプローチギャラリーを抜けると大理石の壁に囲まれたエントランスホールが広がります。
- 2 エスカレーター 外の景色をながめながら、1階から5階へと皆様をお連れします。
- 3 中央ホール 自然光一杯のアトリウムは展示スペースへの入り口です。正面にハイビジョンギャラリー、右へ進むと展示室へと続きます。
- 4 ハイビジョンギャラリー 美術館の所蔵品や国内外の名作を高精細度の画像で提供するスペースです。
- 5 展示室 5階4部屋の企画展示室では、美術館独自の企画、他美術館・諸団体との共催により、広く内外の美術を特色あるテーマでご紹介します。また6階3部屋のコレクション展示室では、年4～6回の展示替えを行いながら、美術館の所蔵品を常時公開しています。
- 6 実習室 専門的な技法講座や基礎的な美術講座など、幅広い実技講座を行います。
- 7 研修室 充実したAV機器を完備し、展覧会に合わせた講演会の開催や美術史講座など、多目的に活用できるスペースです。
- 8 収蔵庫 5室からなる収蔵庫は、温湿度管理によって多くの作品保存・管理に対応できる機能をもっています。
- 9 野外展示スペース 自然の起伏を利用した緑の中の展示空間です。見るだけでなく、直に触れることで、より身近に作品を鑑賞していただけます。

利用案内

◆開館時間

午前9時30分～午後5時00分
(入館は午後4時30分まで)

◆無料公開日

※こどもの日(5/5) ・文化の日(11/3)

※県の記念日(8/29) ※敬老の日(9/17)

※印は実行委員会形式の展覧会のため本年度有料。

◆休館日

2011年度：12月29日～31日、2012年1月10日～19日

2012年度：12月29日～31日、2013年1月15日～24日

(年末及びメンテナンス休館)

◆料 金

	一般	学生	小・中学生
観 覧 料	無料	無料	無料
特別企画展開催時	800円	無料	無料
※団体(20名以上)は1割引			

教育課程に基づく学習活動として利用する児童・生徒・学生及び引率者の入館料は免除されます。あらかじめ「観覧料免除申請書」を提出し、その承認を受けて下さい。

General Information

◆Museum hours

9:30a.m.～5:00p.m. (No entrance after 4:30p.m.)

◆Admission Free

Children's Day

Memorial Day of Akita

Respect for the Aged Day

Culture Day

◆Closed

General Maintenance & Year-end Holidays

・Dec.29-31, Jan.10-19/Fiscal 2011

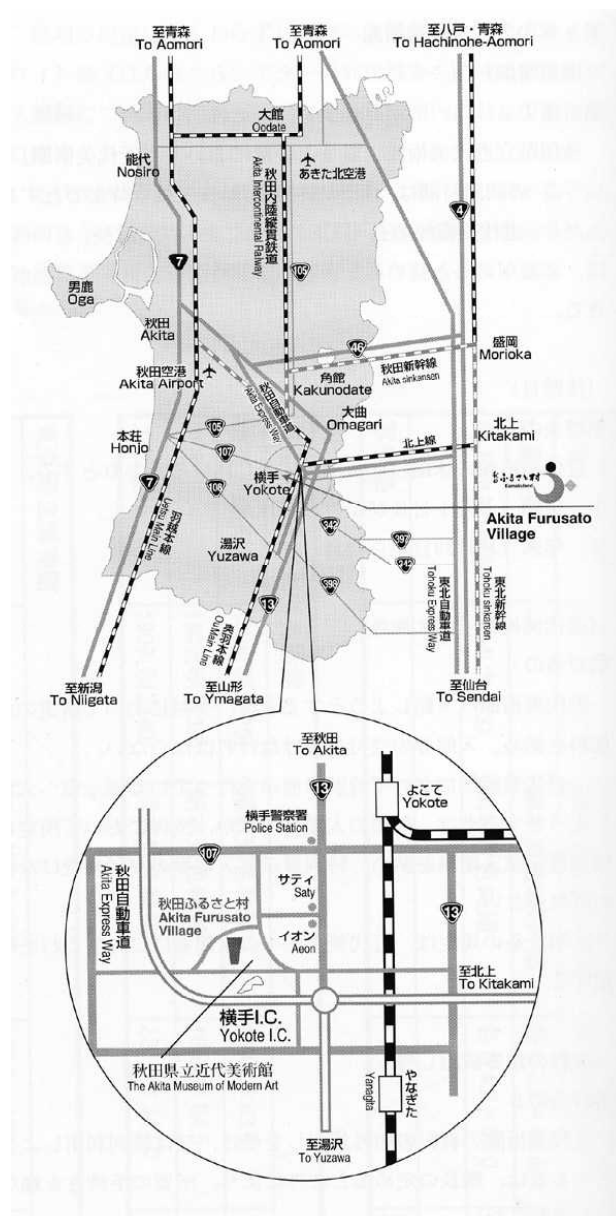
・Dec.29-31, Jan.15-24/Fiscal 2012

◆Admission Fee

	Adult	Student	Child
Permanent Exhibition	¥ 0	¥ 0	¥ 0
Special Exhibition	¥ 800	¥ 0	¥ 0

※ Parties of 20 or more persons are offered a discount of 10 % off the normal admission price.

交通案内 Transportation



- ・(JRとバスで)
JR横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、ふるさと村下車
- ・(お車で)
秋田自動車道 横手インターより3分
- ・(高速バスで)
高速バス 湯沢・秋田線「横手インター入口」下車 徒歩10分
- ・(By JR train and bus)
Get off at JR Yokote Station. Go out of the East Exit and take the bus for Akita-Furusato Mura.
- ・(By car)
Get off at Yokote Interchange on the Akita Express Way, then you will get there in 3 minutes.
- ・(By Express bus, Yuzawa-Akita Line)
Get off at "Yokote Inter Iriguchi", then you will get there in 10 minutes on foot.

秋田県立近代美術館年報 2011 年 3 月製作

編集・発行 秋田県立近代美術館

〒 013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46

TEL.0182-33-8855 FAX.0182-33-8858

URL http://www.pref.akita.jp/gakusyu/public_html/index.html

E-mail:akitamma @ rmac.ne.jp